Oudie 3 取り扱い説明書
(バージョン 5.1)

最終修正日　2015 年　03 月 19 日

目次

パート１　はじめに

Oudie3 はレジャーやクロスカントリー、競技フライトを行うパラグライダー、ハンググライダーの方などのために開発されました。
①太陽光のもとでも見やすい画面②高機能のバリオメーター③12 時間以上のフライトでも継続しようできるバッテリーを兼ね備えた、グライダーが求めるものをすべてひとつにまとめたパーソナルグライディングアシストです。バリオメーター、ナビゲーションソフトウェア、マップ、空域はすでにインストールされているため、すぐにご使用できます。
Oudie3 はパラグライダーとハンググライダーのためのデバイスです。See You for the PC や Soaring Spot などの Naviter 社でつくられている他商品と合わせて使用することをおすすめします。
Naviter 社はスロベニアに本社がある、グライダーのために特化したソフトウェア会社です。パラグライダー、ハンググライダー、滑空機のパイロットの求めているものは何かと日々追求しています。

Naviter d.o.o.
Planina3
4000 kranj
Slovenia
E-mail: info@naviter.com
Web: http://www.naviter.com/

１． １付属品について

Oudie3 は Oudie3 ソフトウェアと世界対応のベクターマップ（トポグラフィカルデータ、高度データ、都市、川、湖、道路など）がすでにインストールされています。世界各地の空域と空港情報がより多く含まれました。以下は商品の付属品となっております。

１． Oudie3
２． 保護ケース
３． スタートアップマニュアル
４． See You トライアル CD
５． 世界対応充電器（110−220V）
６． 車内用充電器（12V）
７． USB ケーブル
８． 簡易取り付け用ベルクロテープ
９． Naviter 社ステッカー2 枚

１．２　バッテリー充電

Oudie3 内部バッテリーの充電方法は複数あります。

- 通常の充電器をコンセント（AC110-240V）に差し込む。（充電時間：短い）
- 車内用充電器を USB ケーブルで車内（DC12-24V）充電する。（充電時間：長い）
- バッテリーパックまたはパソコンに USB ケーブルを接続し、充電する。
- 約 6 時間の充電に充電時間の短い通常充電方法で、主に 6 時間、充電時間の長い車内充電方法では 10 時間かかります。

※推奨の充電方法

USB ケーブルを用いた場合、環境によって充電に不具合が出たり、長時間の充電が必要となります。以下の充電方法を奨励いたします。

１．　付属の AC アダプタで充電。

２．　以下のような充電。

以下の様な PSP 用のケーブルを使用して充電

http://www.vshopu.com/item/210Z-2801/

市販のタブレットも充電できる USB アダプタ（5V　2A 以上）と上記ケーブルの組み合わせが良いです。満充電までに約 8 時間。

◆充電しながらフライト

USB モバイルバッテリーで充電しながら、フライトの場合は、大電流での充電を行うと Oudie3 本体内蔵のリチウム電池の寿命が低下しますので、USB モバイルバッテリーの出力が、5V　1～1.5Amax のものを推奨します。

パート２　初めて使うとき

この章では基本的なOudie3の使用方法をご説明します。初めてお使いになる際はご一読ください。

２．１　Oudie3について

１．電源ON/OFF
２．電源ランプ
３．イヤーフォンジャック
４．microSDカード差し込み口
５．ミニUSBポート
６．短時間充電ソケット
７．専用スタイラスペン
８．スピーカー
９．リセットキー

２．２　Oudie3の電源を入れる・切る

電源を入れる際は電源ボタンを１秒間押して下さい。確認ボタンが表示されるので、ボタンを５秒以内に押して下さい。

電源を切る際は、電源ボタンを一秒間押し、モードを選択してください。

- **電源 OFF**：ナビを停止し、電源を切ります。長時間使用しない場合は、５０％以上のバッテリーがある状態にしてください。

- **スリープ**：画面、GPS、Bluetooth、プロセッサーを OFF にします。ナビは一時停止され、バッテリーの減りが少ない状態です。ナビを再開したい際、すぐに開始されます。バッテリーの消費を抑えたい風待ちの際などにお使いください。また、バッテリーの消費がわずかなため、夜通しスリープモードにすることも可能です。

- **キャンセル**：電源操作を中止し、ナビに戻ります。

※再起動をしたい場合、商品後部にあるリセットボタンを押してください。
※「２．１　Oudie3 について」もご覧ください。

２．３　ファームウェアのアップグレード

ファイルを www.oudie3.com からダウンロードするだけで、簡単にファームウェアをアップグレードすることができます。Oudie3 内蔵 Flash Memory にファイルを保存し、Oudie3 をリセットすることができます。
＜手順＞

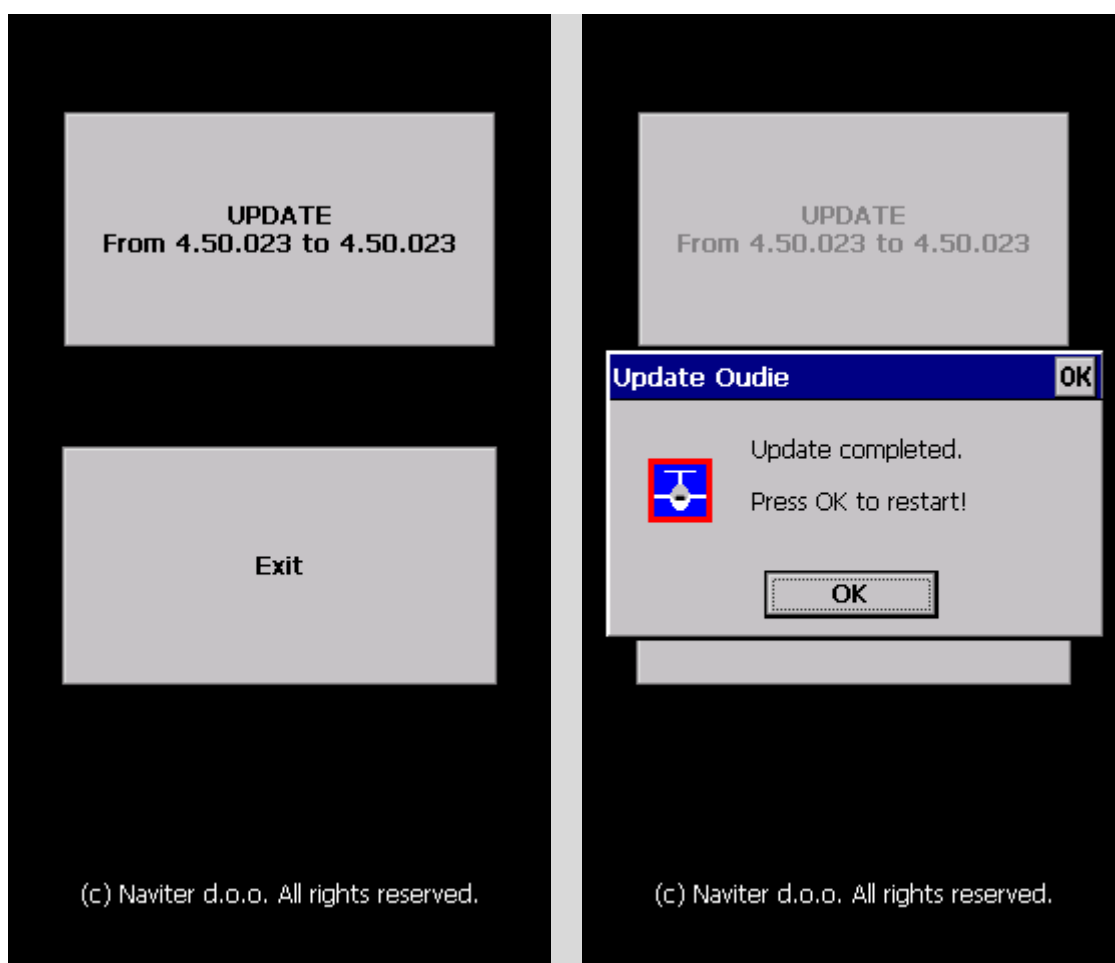
１．　アップグレードファイルをダウンロードする：www.oudie3.com からパソコンにダウンロードする。（Oudie に直接ダウンロードする場合は、手順５へ進んで下さい。）
２．　パソコンに Oudie を接続する：付属品の USB ケーブルを使用して下さい。
３．　接続されると Oudie の画面に PC アイコンが表示され、パソコン画面上に「TFAT」という新しいリムーバブルディスクが表示されます。
４．　アップグレードされた Oudie.exe を TFAT と表示された Oudie にコピーする：この時、「UpdateOudie(1).exe」など、「UpdateOudie.exe」以外の表示名ではないことを確認して下さい。ファイルの表示名は「UpdateOudie.exe」です。ブラウザーとオペレーティングシステムに

より、コピー作業が中断される場合があります。

5．　Oudie をリセットする（または、Oudie の電源ボタンを一秒間押して電源を切り、再度ボタンを一秒間押して電源を入れ直してください。）

6．　起動を待つ

7．　「Update」を押し、プロセスが終了するのを待ちます。

8．　アップデートを完了する為、再度 Oudie を再起動させます。

２．４　初めて Oudie3 ソフトウェアを起動する

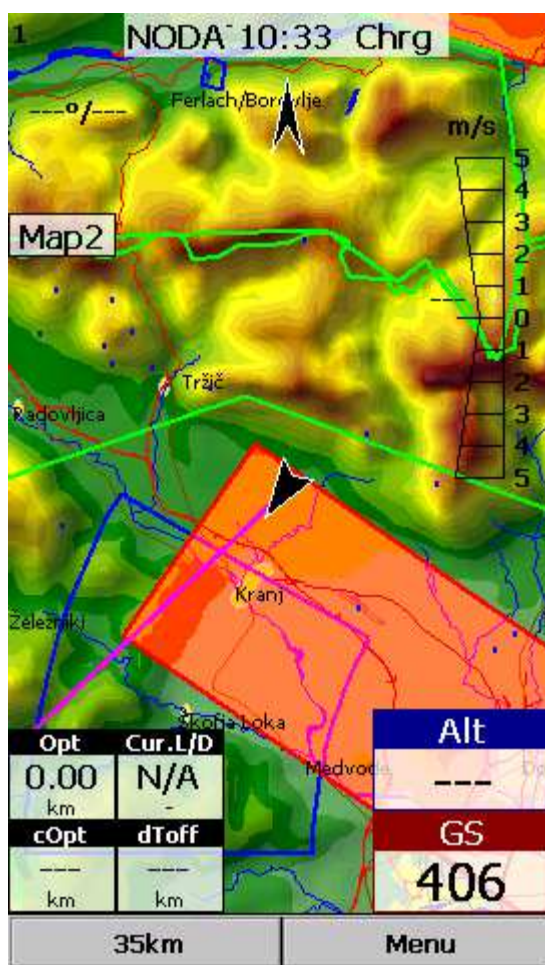
初めて Oudie3 を起動する際、またはリセット後に起動する際、ナビゲーションソフトウェアは自動的に起動します。

・ Language：使用したい言語を選択し、「Select」ボタンを押して下さい。

・ Region：フライトする地域を選択し、「Select」ボタンを押して下さい。

・ GPS に接続する : 初めてナビを使用する際、または長期間ナビを使用していなかった際は、GPS 受信をするのに 40 分ほどかかることがあります。高層ビルなどが近くにないひらけた上空で、GPS の位置が確認されるまで、一定の場所に停止していると、GPS 受信がされやすくなっています。画面の上部にある「navbox」では GPS の状態が表示されます。(初期設定で「navbox」の設定を変更することができます。)

・ 操作機能付きのマップ画面

この画面でいつでも様々な情報をみることができます。

画面をドラッグすることで、マップを動かすことが出来ます。現在地ボタン、または 10 秒後に自動的に現在地のマップ表示に戻ります。
必要なときにすぐに使用できるように、マップ周辺に navboxes を設定することができます。

他のマップ上のダイアログボックス（簡易操作）は以下の通りです。

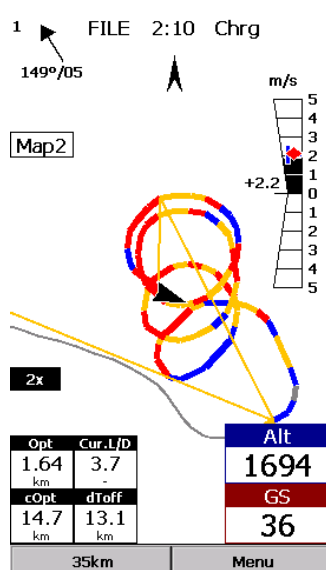
- 現在地：北を示している矢印を押す
- 風：風向・風速を押す
- マップをズームする：ズームボタンを押す
- パンモード：コース詳細を自由に操作し、確認することができるモード
- グライダー（画面下の矢印）を動かす：グライダーを押す
- Map2 に移る：「Map2 Navbox」を押す

マップ上ウェイポイントを押すことで、空域と中間地点のリストが表示されます。いくつかのウェイポイントから選択するのに適しています。
ディスプレイには必要とする情報(navboxes)を表示することができます。スタートゲートやファイナルグライドなどで待機している際、ナビゲーション、さらに操作を簡易的にしたい場合などは、メニューから使用したい navboxes を選択して下さい。

・ コマンドバー：すぐに使用したいもの、よく使用するものは 2 つのみ、コマンドバー設定で簡単に使用できます。コマンドバーに加え、ポケット PC 上のハードウェアボタンでも可能です。どのボタンでどの操作をしたいかは、menu→settings→commands で選択することが出来ます。

初期設定ではコマンドバー左がズーム、右がメニュー操作となっています。
※ 「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．５　バリオメーターを使用する

Oudie3 は非常に正確で反応のよい優れたバリオメーターを搭載しています。
menu→settings→vario で、音声設定をすることができます。初期設定では Naviter 社オリジナルの音声設定になっておりますので、設定を変更する前に、一度お試しください。
画面上のバリオメーターボタンのサイズと位置は変更することが出来ます。位置はドラッグすることで、サイズとデザインは menu→settings→symbols→vario で変更することできます。

２．６　Oudie3 にファイルをコピーする

ファームウェアをアップグレードする要領で、USB ケーブルでパソコンと接続し、Oudie3 内蔵 Flash memory に入れて下さい。

＜手順＞

１．付属品の USB ケーブルでパソコンと Oudie3 を接続してください。
２．Oudie3 画面上の「Connect to PC」、または USB スティックアイコンを選択してください。
３．パソコン画面上に Oudie3 が外部マスストレージドライブ（「TFAT」）と表示されます。
４．　　Oudie3内のフォルダーなどにファイルをコピーします。
５．　　コピー完了後、パソコンのソフトウェアからOudie3を安全な状態での取り外しを可能にして下さい。
６．　　Oudie3とパソコンを接続しているUSBケーブルを取り外して下さい。

※「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．７　Oudie3 の使い方を学ぶ

フライト前に確認すべき使い方が、2種類あります。

＜1. ファイルリプレイ＞

フライトデータの閲覧ができ、希望するデータをみることができ、この使用方法はOudie3ソフトウェアを学ぶのに最適な方法です。

ファイルリプレイをするには、今までのフライトデータをパソコンからOudieにコピーして下さい。Menu→Settings→Inputと操作後、ファイルをインプットしてください。画面上の「…」を押し、閲覧したいフライトデータを選択して下さい。ウェイポイント、マクレディ、ページなど、ボタンを使って変更・操作して下さい。画面をタップして、色々試してみた後に、Navboxesを個人の希望するように設定して下さい。2つのマップそれぞれにNavboxesは設定することができます。

＜2. シュミレーター＞

フライトデータが無い場合でも、このモードではグライダー（マップ）を自由に操作することができ、まだ訪れたことのない地域でも閲覧することが出来ます。

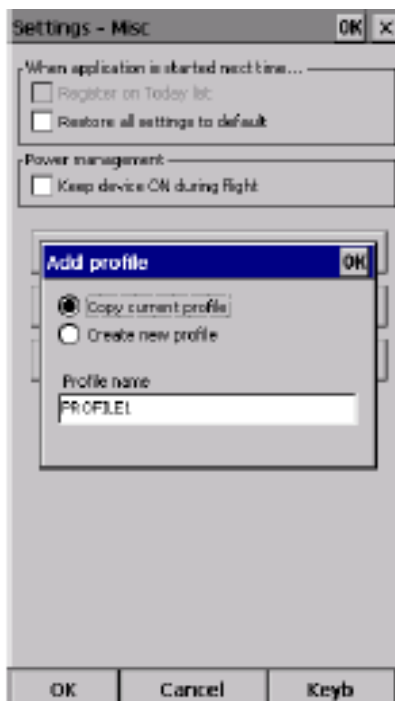
グライダーを動かすには、グライダーの矢印をタップして動かしたい方向にドラッグして下さい。ドラッグの強弱によってマップを動かす速さを調整することができるため、グライダーの矢印から遠くにドラッグする分だけ、マップは早く移動します。

Oudie3の使い方を地上で習得することで、フライト中のグライディングやタスク、景色により集中することができるでしょう。

※「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．８　フライトプロフィールを使用する

Navboxesを1セットしか使用しない場合、また1つのグライダーしか使用しない場合は、このチャプターはとばしてください。
複数グライダーを所持、または異なる地域でのフライトで、失速速度や地域、ウェイポイント、空域などのデータファイルをフライト毎に変更したい場合は、Oudie3に複数のプロフィールを作成することが出来ます。グライダーごとや異なるフライト環境に合わせたセッティングのプロフィールを作成できます。

1. 初めてOudie3を使用する際は、初期設定のままのプロフィールとなっています。プロフィールの設定を変更すれば、その変更後の設定が保存されます。そのままの状態で、以前にフライトした時とは異なる失速速度でフライトした場合、その失速速度が上書きされます。または異なるグライダーでフライトする際、新規のプロフィールをフライト前に作成することで、データの上書きを避けることができ、グライダーごとにデータを蓄積することができます。新規プロフィールは、Menu→Settings→Miscellaneousの順で操作し、「Add Profile…」を選択して下さい。

2. 新規プロフィールの作成方法は2種類あります。

・「Copy current profile」:現在の設定のまま新規プロフィールを作成します

・「Create a new profile」:初期設定の状態の新規プロフィールを作成します。

それぞれのプロフィールの使用方法で、「レース」「XC」「ハイク&フライト」など、新規プロフィール名を作成してください。

３．新規プロフィール作成後は、Oudie3 起動時に複数のプロフィールから使用したい 1 つを選ぶようになります。10秒間何も操作がなければ、自動的に前回使用したプロフィールが起動します。

４．新規のプロフィールを起動した際、自分好みの設定ができるよう、下記に使用前に変更できるものを記載してあります。

・ 地形、空域、ウェイポイントのリンクファイル

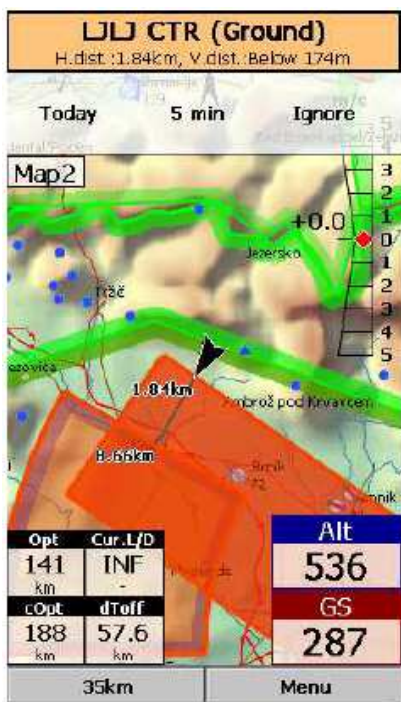
・ パイロットの氏名とグライダータイプの設定

・ Map1 の Navboxes

・ Map2 の Navboxes

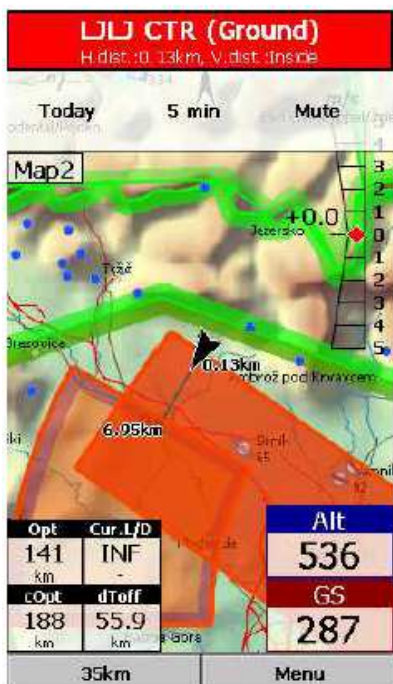
※ 「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．９　空域警告の作動

通常のナビはもちろん、飛行禁止空域を知らせることは大切です。空域構造があいまいで複雑なため、正確に谷を見つけることより飛行禁止空域を探知し、警告することは困難ですが、Oudie3 をうまく使いこなすことで、より良い飛行禁止空域の探知が可能です。

＜１．空域警告＞

空域警告は危険空域を短めのビープ音で知らせます。画面上部にオレンジ色のバナーが表示され、入域しそうな危険空域はハイライトされます。また、他の近い空域を表示し、現在地から最も短い直線距離を表示します。

空域警告が作動した際に、下記から解除の方法を選択して下さい。

- 「Today」: 次のテイクオフまで、警告を解除します。
- 「5 minutes」: ５分間解除します。(解除したい時間の間隔は、Menu→Settings→Warnings で設定を変更できます。)
- 「Ignore」: その危険空域の警告を永久解除します。

＜２．空域警報＞

空域警告後から危険空域にさらに近づいた際、警報が鳴ります。その危険空域についての情報が画面上部に赤いバナー内に表示され、その空域はハイライトされます。また空域への最短地点までの直線を表示し、警報が鳴り続けます。

下記は警報の解除方法です。

- 「Today」: 次のテイクオフまで、解除します。
- 「5 minutes」: ５分間解除します。(解除したい時間の間隔は、Menu→Settings→Warnings

で設定を変更できます。）

・ 「Mute」：警報音のみ停止します。

＜３．便利な Navboxes＞

３つの空域に関しての便利な Navboxes をご紹介します。

① 「Nearest airspace-Horizontally」：まだ特定の空域下まで降下していない場合など、まだ入域していない水平空域で、現在地から最も近い空域までの距離を表示します。

②「Horizontally nearest airspace-Altitude」：最短の水平空域との高度差を表示します。最短の水平空域の高度より低い位置にいる場合、高度差はない方が良いですが、その空域より高い高度にいる場合、また高度内にいる場合は、高度差はアドバンテージとなります。

③「Nearest airspace-Vertically」：グライダー上下にある空域との高度差を表示します。最短の水平空域がある高度より下にいる場合はあまり意味がありませんが、その空域より上にいる場合はこの Navbox は作用します。その空域にすでに入域している場合は「inside」、周辺地域に空域がない場合は「N/A」と表示されます。

これらの空域に関する Navboxes に加えて、初期設定の状態で「Nearest airspace-Horizontally」の Navbox 内にある、「Highlight nearest airspace」という動作もおすすめします。この動作を設定している Navbox を選択した際に、特定の空域をハイライトします。グライダーと特定の空域との距離を表示します。

＜４．スクリーンタップ＞

これまでご紹介した空域警告以外にも、画面のどこかをタップし、「Airspace」を選択することで、タップした地域の空域リストをみることができます。リスト表示画面から、マップ上の空域表示の設定や空域情報をみることができます。また表示する空域の上限下限も設定することが出来ます。

この空域情報のナビは複雑な空域環境でも簡単でわかりやすいマップ判断ができるように個人で設定することができます。

※ 「警告を設定する」「表示する空域を変更する」「空域ファイルをダウンロードする」もご覧下さい。

２．１０　タスクを入力し、フライトする

Oudie3 へのタスクの入力方法をご紹介します。

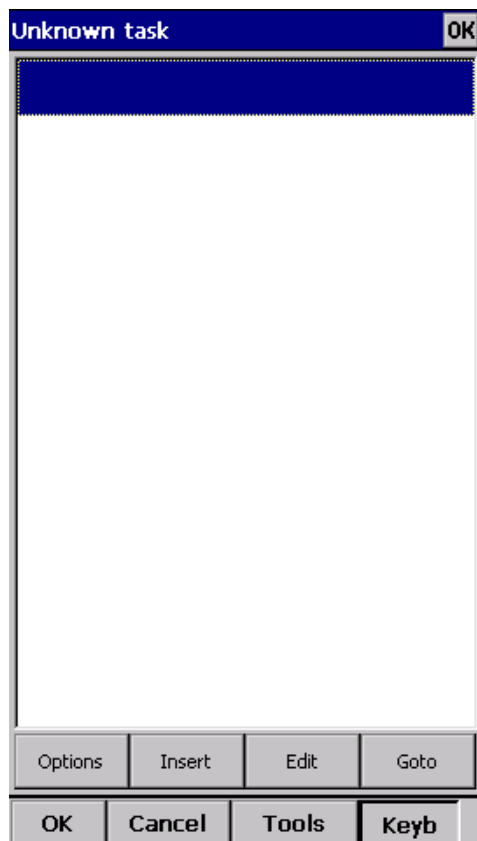
タスクの入力方法は簡単です。

ウェイポイント名を入力し、時間（ゲート、スタートスピードセクション、エンドスピードセクション、タスクの制限時間）とセクタータイプ（ライン、シリンダー、FAI セクターまたは指定地域）を設定します。観測地帯の入力は必要ありません。以下、デモンストレーションを通して、タスクの入力方法をご紹介します。初期設定の状態ではこのタスクが入力されています。スロベニア西部 Lijak エリアでの 39.9km のレースを例としてタスク入力します。タスク入力時は必ず、Menu→Task→Tools→Clear task で、それ以前のタスクを削除してから始めて下さい。

Menu　OK

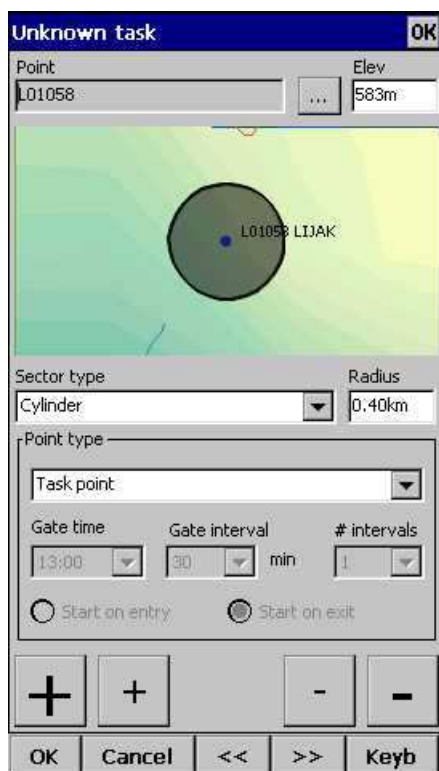
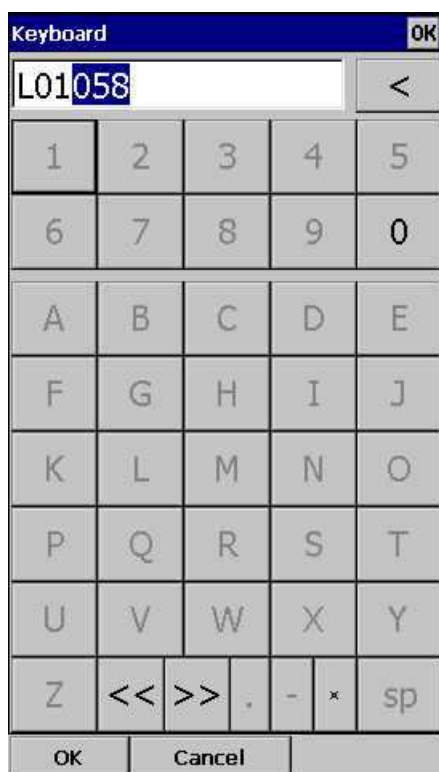
ESC	<Prev	Next>
Edit point	Delete point	Insert point
Point up	Point down	Invert task
Load task	Save task	Clear task
Options	Map	

OK　Cancel　Keyb

空欄のリスト内にある最上部の帯を選択してください。（タスク削除後、画面操作をしていない場合はすでに選択されています。）次に、「Keyb (キーボード)」を選択して下さい。

入力を開始すると、ウェイポイント名が自動入力となる場合があります。（Oudie3 が認識できないキーボード文字は入力できません。）

「L01」と続けて入力すると、「058」が自動入力されます。入力したいウェイポイントと Oudie3 内に記録されているウェイポイントがアルファベット順で近くにある場合は、フルスクリーンキーボードにある「<<」または、「>>」をタップすることで、直接入力せずにウェイポイントを検索することが出来ます。入力したいウェイポイント名を見つけたら、「OK」ボタンを押して下さい。

それぞれのウェイポイントを選ぶことで、

地点編集ダイアログが開き、大会や FAI レコードのそれぞれの値を設定することが出来ます。

再度「Keyb」ボタンをタップし、スタートゲートのターンポイント名を入力して下さい。例として、「A28089」と入力します。

A2 と続けて入力した際に、自動的に「A28089」が表示されます。入力したいウェイポイントである「A28089」が表示されない場合は、「>>」ボタンをタップし続け、「A28089」を探し、「OK」ボタンを選択して下さい。
フィニッシュ地点も含め、全てのウェイポイントをこの手順で入力して下さい。

タスク入力に必要なウェイポイントを全て完了した後、ウェイポイントセクター（シリンダー、ライン、FAI セクター）が全て正しく設定されているか確認して下さい。初期のセクター設定は、Menu→Settings→Task→Observation

Zone→Type→Cylinder で変更することが出来ます。

地図からタスクを入力する

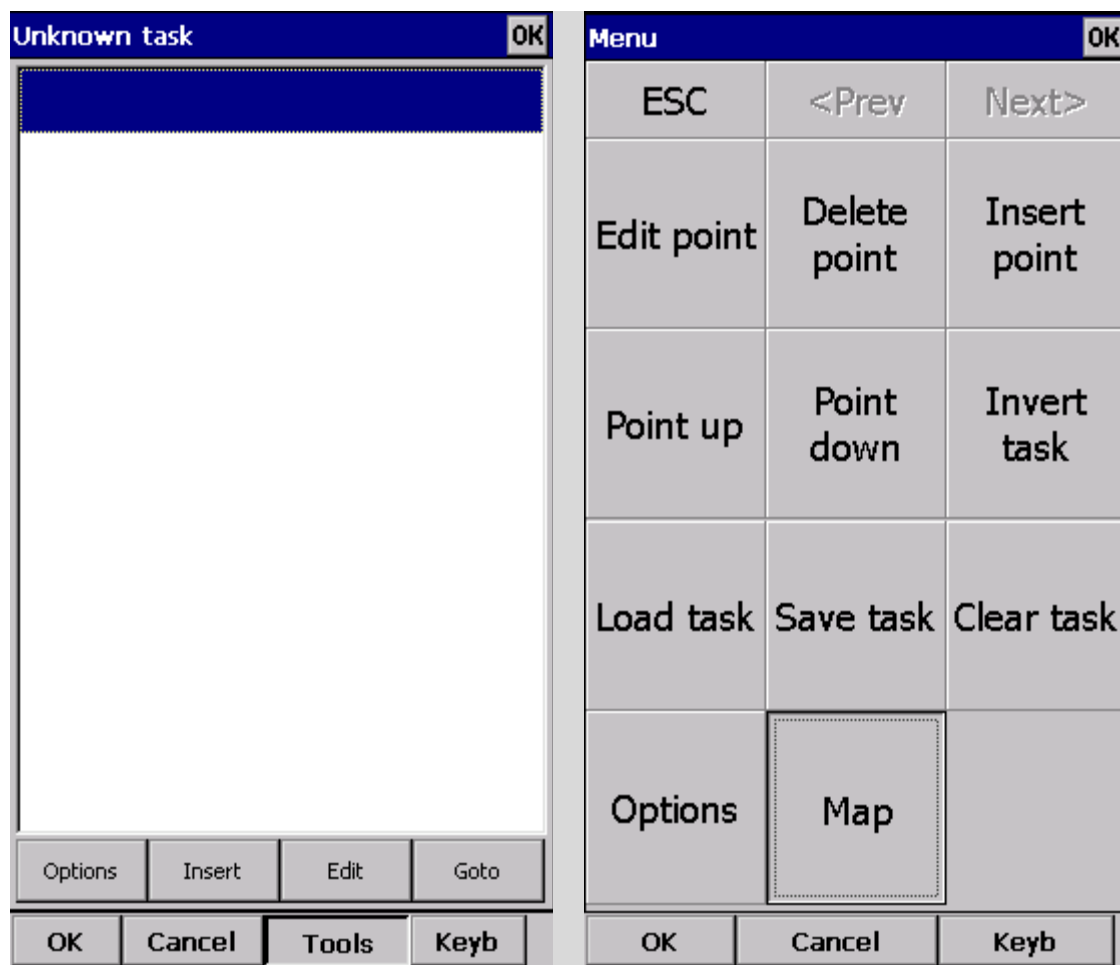
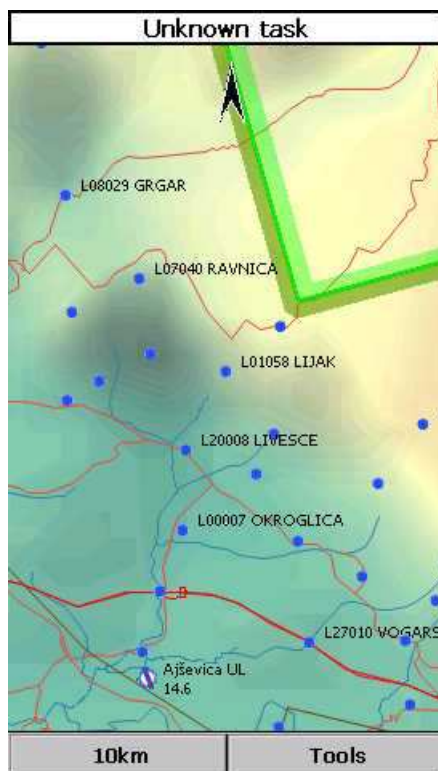
地図からタスクを設定すると便利です。タスクを簡単に視覚的に見ることができます。

このツールは、簡単にタスクを組んで設定できるので、タスクコミッティにとって非常に便利です。

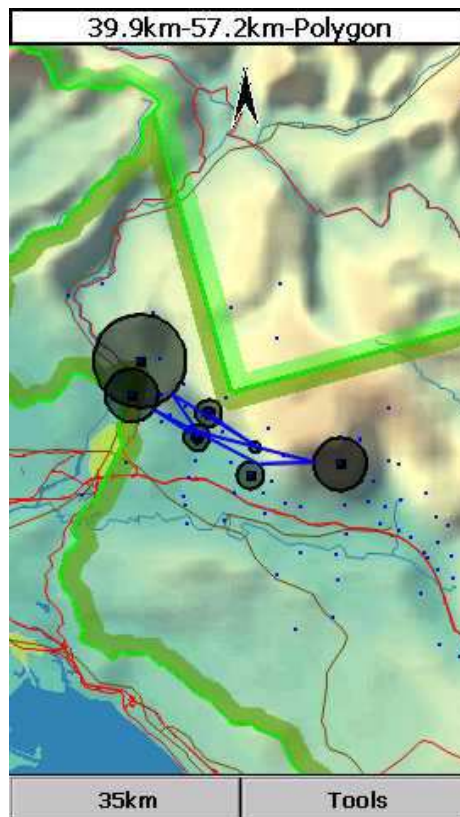
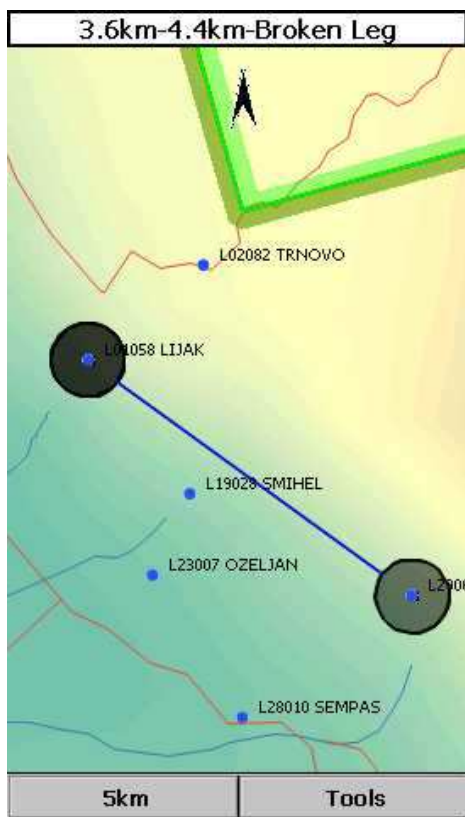
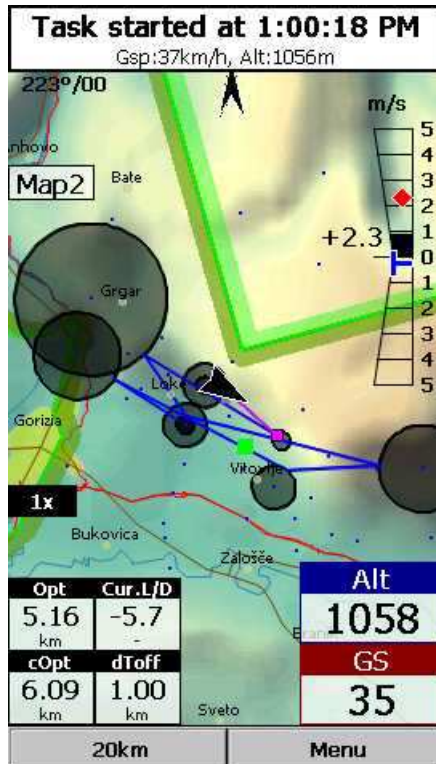
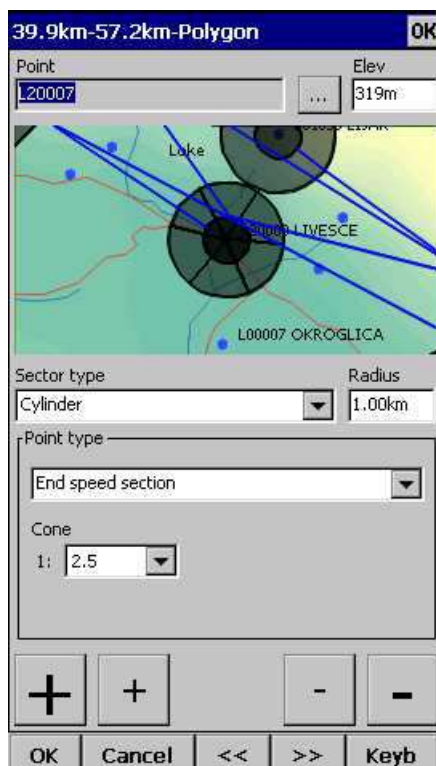
前項同様、タスク入力時は必ず、Menu→Task→Tools→Clear task で、それ以前のタスクを削除してから始めます。

Menu		OK
ESC	<Prev	Next>
Edit point	Delete point	Insert point
Point up	Point down	Invert task
Load task	Save task	Clear task
Options	Map	
OK	Cancel	Keyb

空欄のリスト内にある最上部の帯を選択してください。（タスク削除後、画面操作をしていない場合はすでに選択されています。）次に、「Tool」を選択しマップを選んで下さい。

ウェイポイント名が見えるまでズームします。

マップ上でウェイポイントを追加します。ウェイポイント B01 を選択すると、Append point to list の選択画面になるので「Yes」を選択します。

ウェイポイントを追加すると、Edit point ダイアログが自動で開きます。

OK ボタンを押し、タスクに使用する全てのウェイポイントを追加します。
パンモードを使うと、マップから次のウェイポイントを探せます。

全てのウェイポイントを選択し終わったら、Tool→List と選択します。
ウェイポイントのセクター(シリンダー、ライン、FAI セクター)と時間が正しいかどうか確認します。問題がない場合、OK 選択すればフライトの準備は完了です。

<タスクを開始、再開する>
タスクを再開するには、「target waypoint」を「start point」に変更して下さい。その際、タスクダイアログを開き、「start point」を選択し、「Goto」ボタンを押すとタスク再開が容易です。スタートラインを切った時、統計が再設定されます。

<円錐形のスピードセクション(Conical End Speed Section – CESS)の設定方法>

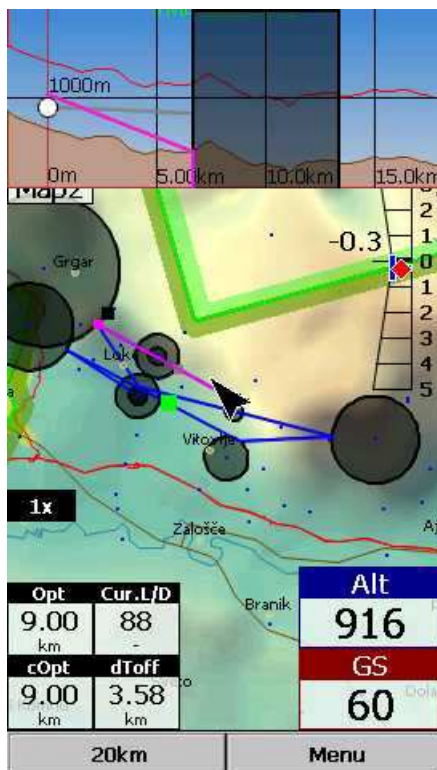
1. 前述のようにタスクを設定します。
2. エンドスピードセクション(ES)のポイントを選びます。
3. CONE の設定を NONE、1:2.5、1:4 から選択。

円錐形の ES を設定した場合、右図のようにシリンダ内に線が引かれます。

＜円錐形のスピードセクション(Conical End Speed Section – CESS)を使用する＞

＜サイドビュー＞

サイドビューは現在地からの目標までの地形が表示され、飛行制限空域、シリンダー・ライン等、現在のL/ D(灰色の線)、必要L/Dもしくは到達高度(紫の線)が重ねて表示されます。

Navboxにアクションを設定することで、表示・非表示を切り替えられます。設定は次の手順で行います。Menu > Settings > Next >Navboxes > Select one Navbox > Action > Toggle side view

＜タスクをフライトする＞

タスクを行う際、ナビゲーションとして下記のOudie3 機能をご利用ください。

- マップ画面：現在地を表示します。
- Navboxes：確認したいフライトパラメーターを表示します。
- 統計:それまでのデータの統計を表示します。
- 空域警告:飛行禁止空域への入域を防ぎます。
- Goto ダイアログ：最短の空港などを探索します。

＜ファイナルグライド＞
Required L/D と Current L/D という Navboxes をファイナルグライド時に使用することをおすすめします。Required L/D（目安の L/D）はフィニッシュラインまでの標準的な目安となる滑空比を、Current L/D (現在の L/D) は現在の滑空比を表示します。目安の L/D より現在の L/D が高い場合、フィニッシュラインに届く滑空角で飛んでいます。Navbox 内の目安の L/D はあらかじめ余分に高度を高くとって計算しています。この機能の良いところは、MC 設定、グライダーポーラー、風向風速計算を気にしなくてもよい点です。グライダーポーラーからすべてを計算しようとすると、うまくいかない可能性があります。
現在の L/D はその時実際の滑空比を、目安の L/D はその時に必要な滑空比を表しています。目安の L/D より現在の L/D が高く、その状態で継続することが良いでしょう。

＜＜タスクを保存する＞＞
万が一の機器の故障に備え、データを保存してください。
メイン画面から Menu→Next→Save→Settings と操作し、可能であれば「Save Profile」と「Save waypoints and tasks」の両方のチェックボックスを選択後、「Yes」ボタンをタップして下さい。

※ 「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．１１　FAI トライアングルアシストでフライトする

FAI トライアングルアシストは Oudie3 をアシストモードにするだけで、可能な限り大きな FAI トライアングルができるようにサポートします。
ディスプレイオプションのダイアログから「FAI Assistant on or off」を選択します。マップやウェイポイント、空域、Navboxes などの一つのボタンでオンオフを切り替えるシステムと同様です。

＜フリーFAI トライアングルタスクをフライトする＞
トライアングルコースをフライトしている際、おおよその進行方向を確認することは不可欠ですが、多くのことをする必要はありません。トライアングルが大きい程、フライトすべきコースを確認しやすいでしょう。FAI トライアングルアシストはその時のフライトに合わせて作動するため、ファーストレグフライト時は進行方向を定めることはできません。ファーストレグから一方向に FAI エリアが表示されますが、希望の進行方向でない場合は、希望のエリア内をタップすると、タップした方向に FAI エリアの循環が行われます。（あらかじめ初期設定の時点で、「Rotate on click」: クリックでのエリア循環を設定してあります。）
ファーストレグから方向転換した後も、次のウェイポイントまでフライトを継続してください。（または、セカンドレグから方向転換したいより広いエリアまでのフライトでも結構です。）セカンドレグが十分な距離をフライトすると、FAI

エリアが変更されます。それ以上の長距離レグは表示されなくなり、それ以前にフライトしたレグが表示されます。トライアングルが形成されるように、2 回目の方向転換するウェイポイントを表示します。
2 回目のウェイポイントが近づいた際、Navboxes リストにある「FAI Triangle optimization」を使用して下さい。スタート地点に戻る場合、「FAI Triangle optimization」を画面上に表示し、フライトしているトライアングルコースを確認してください。そのままスタート地点へナビゲートされ、スタート地点へ戻ることが出来ます。
上述した例は、トライアングルの角、方向転換地点からスタートした場合でしたが、トライアングルの角ではなく、線上からスタートすることもできます。その場合は、2 回目の方向転換する地点が最後のものではなく、3 回目のものが最後の転換地点になります。

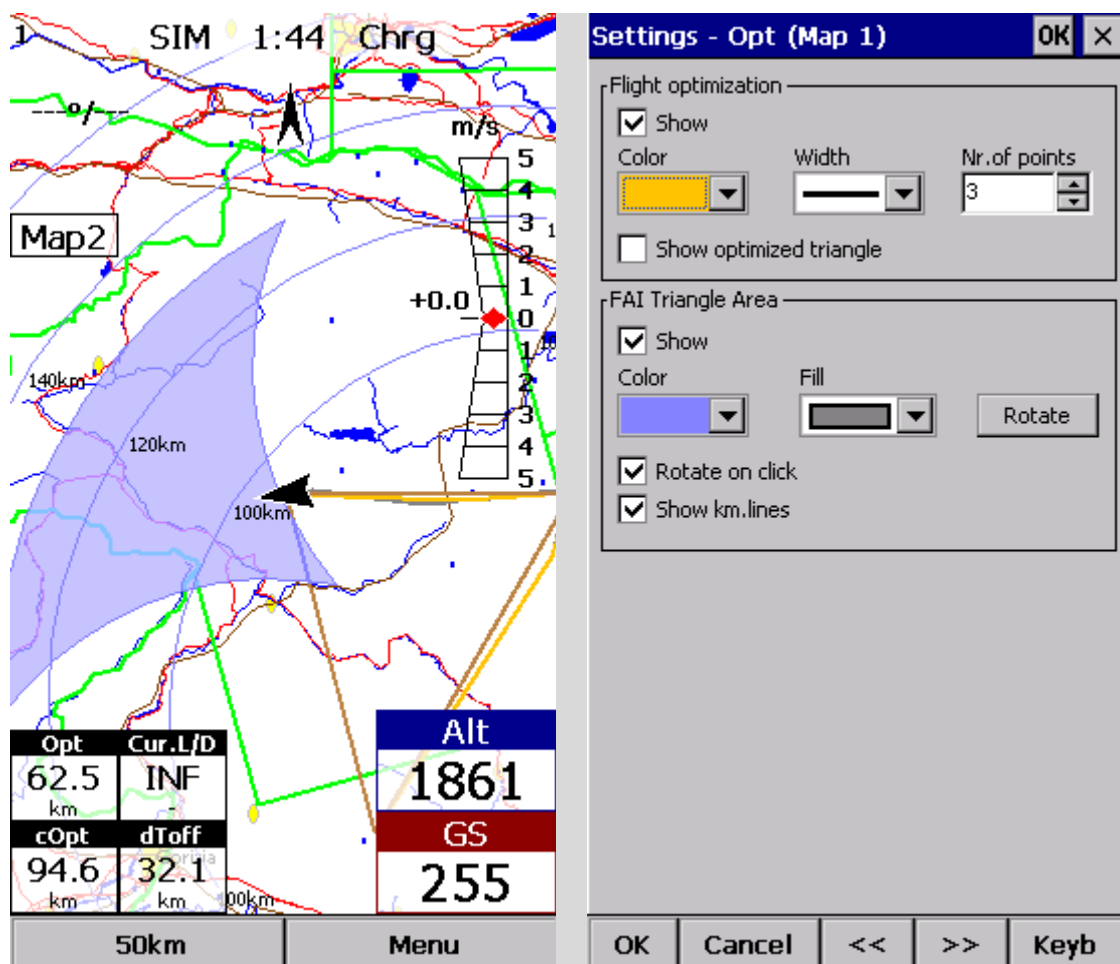
＜タスクを終了する＞
FAI トライアングルアシストはスタート地点に戻るまで、継続されます。最初のスタート地点から半径 1km 以内へ到達すると、アシストは終了します。コースの角からスタートした場合は一点のみの軌道修正となりますが、線上からスタートした場合は、離陸した場所と最初の方向転換地点との間全ての軌道修正が行われます。
また、FAI トライアングルアシストは最短の調整されたゴール地点から直径 1 km の円を表示し、正確なコースを案内します。

＜エリアを循環する＞
現在フライトしているファーストレグが地域 A を FAI エリアとして含んでいるかどうか確認したいなど、上述の例以上の情報を手に入れたい場合があります。その際、フライト中のファーストレグから FAI エリアを循環すると思いますが、その場合は起動中のマップ内表示された FAI エリアをタップすることで、画面上でも循環が表示されます。その時、ファーストレグ上にいる場合（またはまだセカンドレグのフライト開始直後の場合)、ファーストレグ周辺の左右どちらかでの循環が表示されます。セコンドレグのフライトからしばらく経ち、トライアングルのコースが明確になると、レグ周辺の循環を表示します。初期設定で、すでにタップすることで循環表示がされるように設定してあります。

コマンドバーに FAI エリアアイコンを設定することで、すばやくエリア循環モードに切り替えることができます。Menu→Settings→Commands で、FAI エリア表示とエリア循環モードを同じボタンで変換できるようになります。

＜FAI トライアングルアシストの設定変更＞

Menu→Settings→OLC&FAI Area とダイアログを操作することで、自分好みのアシスト設定をすることができます。

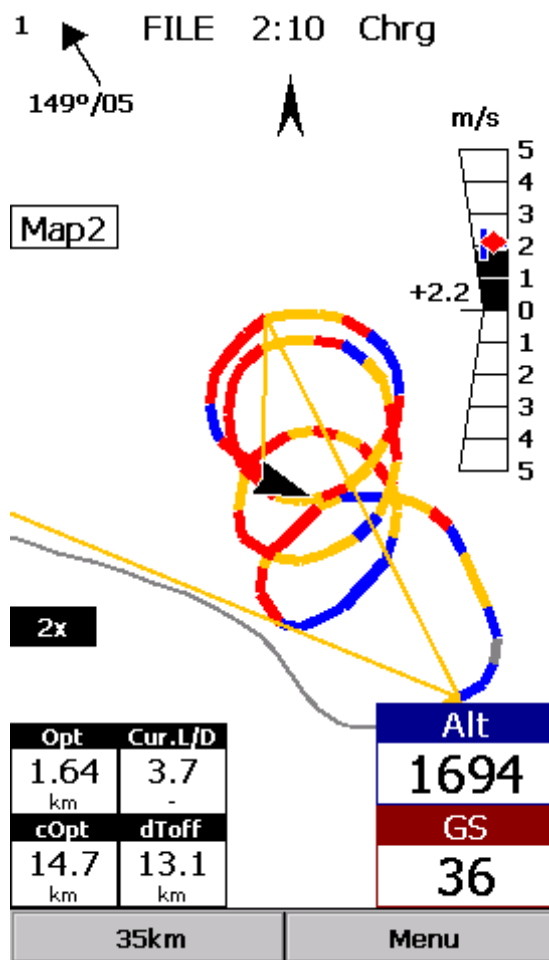
設定例として、80km～120km のトライアングルのキロメーター単位の線を表示することが出来ます。紫色のエリア内にフライトした際、トライアングルは FAI トライアングルとなります。

※ 「初めて使うとき」もご覧下さい。

２．１２　サーマルアシストを使う

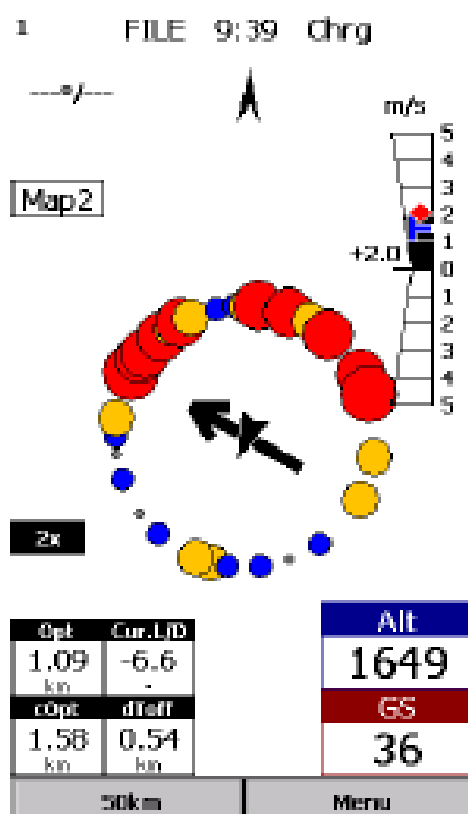
この機能は Oudie3 特有の機能で、指示に従うことで、より早く上昇中心部に入ることが出来ます。

サーマルアシストは、平均値の計算とそれぞれのサークル内でのバリオメーターの値の変化に従って、フライトしているサーマルの上昇を分析します。

サーマルを下記の方法でお知らせします。

① バブルまたは、拡大マップで最適な上昇位置を表示します。初期設定では、拡大マップが設定されています。

② サーマルアシストのお知らせ音：高度変化が十分大きい場合、お知らせ音は鳴らなくなります。(Settings→Thermal をご覧下さい。) その直前に入域したサークル内のもっとも強い上昇位置にグライダーが到達するまで、お知らせ音は設定された秒数、鳴り続けます。(Settings→Thermal をご覧下さい。)

③ サーマルアシストグラフィック：フライト中、大きな高度変化があった際に

サーマルアシストの画面が表示されます。（Settings→Thermal をご覧下さい。）バブルの大きさは上昇量を、バブルの色はマッククレディ設定(速度と降下率の関係を求める簡易計算)について表示しています。バブルの色が赤い場合はマッククレディより高く、青い場合は 0.5m/s（1 ノット）以上でマッククレディより低く、黄色い場合はその間となっています。矢印はそれ以前のサークル内の最も上昇があった場所を指しています。また矢印の長さは高度変化が大きい程、長くなります。

＜グライダーが行うこと＞

- サーマルを見つける
- センタリングの開始
- 全体を見渡す
- サーマル要因を確認する
- 周辺に飛行機やパラグライダーなどがいないか確認する
- アシストの指示をうまく利用する
-

＜アシストモードで機能すること＞

- サーマル分析
- 最も上昇のある位置の探索
- 音と画面でお知らせする

このモードはあくまでもアシスト、サーマルに関して補助をするためのものですので、疲れているときやサーマル以外に集中しなければいけないときなどにお使いください。大きな高度変化があった際のみ、音が鳴ります。

フライト中、バリオメーターではなくサーマルアシストを表示したい場合は、Menu から Thermal Assistant ボタンを押して下さい。サーマルアシストを終了したい場合は、画面をどこかタップして下さい。

アシストなしで、サーマルソアリングを楽しめるようになりましょう！

※ 「初めて使うとき」「設定–サーマル」もご覧下さい。

パート３　マップ

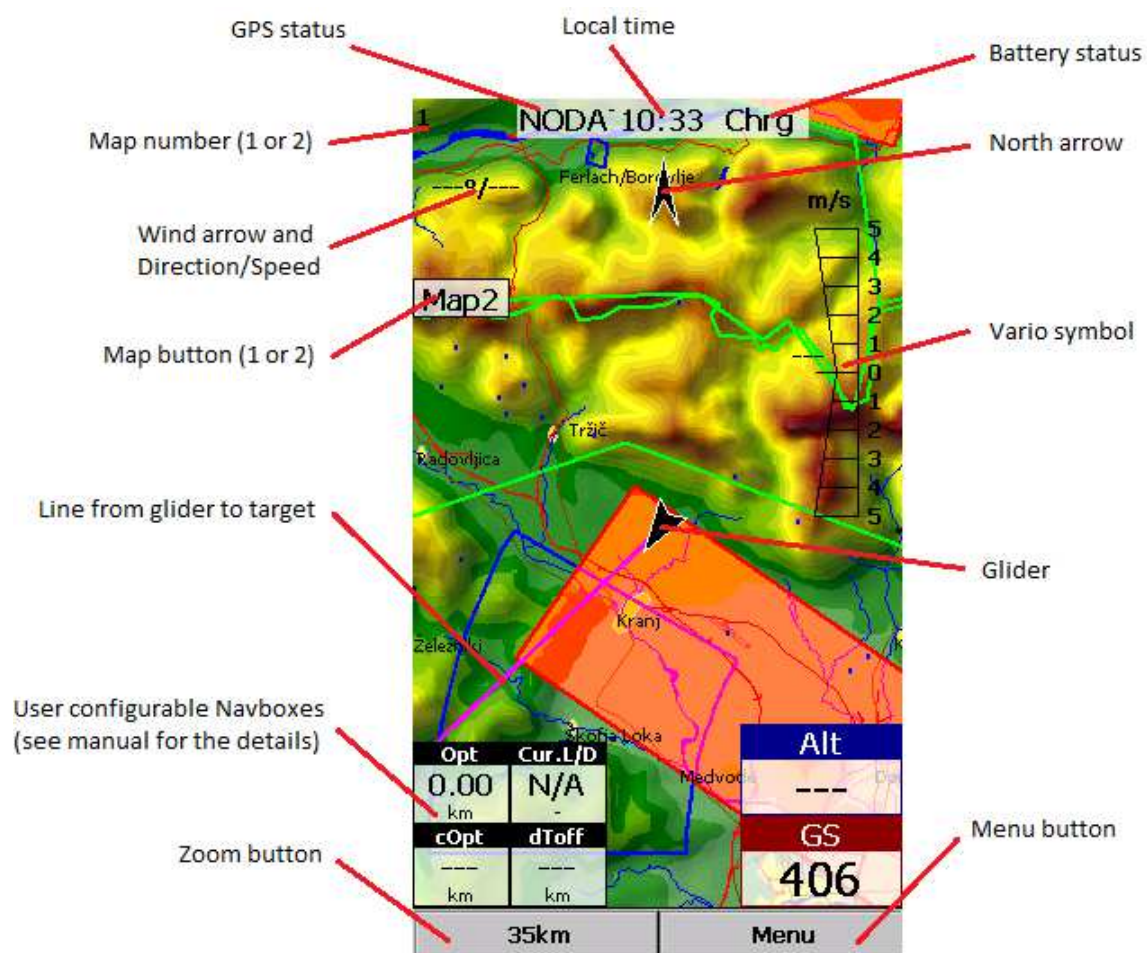
最も使用頻度が高いものが、マップ画面です。
マップ画面は以下の表示、機能があります。

- グライダーの位置
- 北を示す方位針
- 風向・風速
- ベクトル地図
- フライト経路
- 着陸予想地点
- 危険空域警告
- Navbox
- アニメーションスピード
- コマンドバー

それぞれの機能については、各チャプターの説明にてご覧下さい。
マップ画面で特徴的なのは、カーソル情報です。

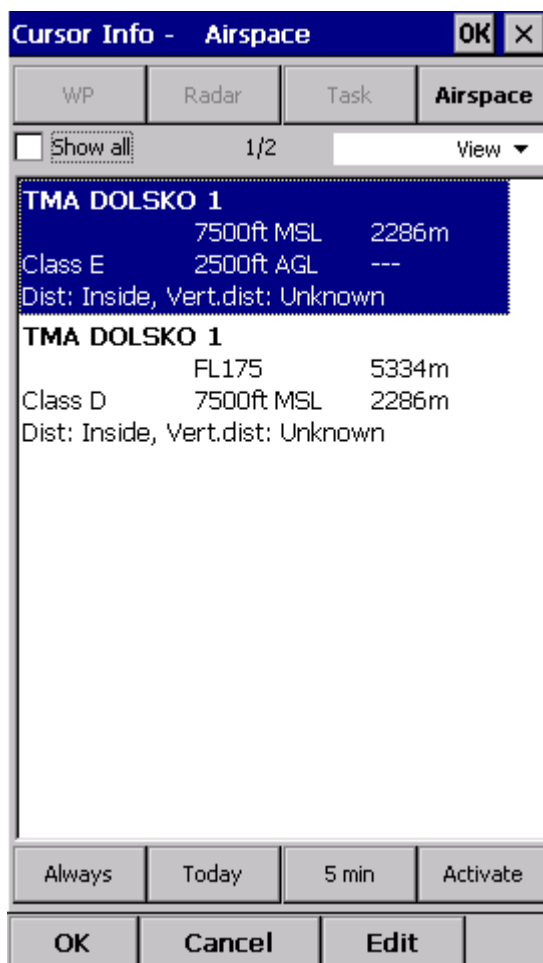
ズームレベル、マップ詳細、Navbox など、それぞれの設定を行うことができるマップが 2 つあります。（Map1 と Map2）

オーバービュー画面と区別して使い分けることができるので、便利です。
簡単に、マップ画面でよく使われる表示、機能は下記の通りです。

GPS status
Local time
Battery status
Map number (1 or 2)
North arrow
Wind arrow and
Direction/Speed
Vario symbol
Map button (1 or 2)
Line from glider to target
Glider
User configurable Navboxes
(see manual for the details)
Menu button
Zoom button
NODA 10:33 Chrg
Map2
m/s
Opt
0.00
km
Cur.L/D
N/A
cOpt
dToff
Alt
GS
406
35km
Menu

３．１　カーソルについて

マップをタップすると、以下の内容についてのダイアログを表示することが出来ます。

・ ウェイポイント
・ 空域
・ タスク

上記を指定範囲内でタップした場合、それらの情報がダイアログ内に表示されます。

３．１．１　ウェイポイント

ウェイポイントが近くにあるときにマップをタップした場合、ウェイポイントが表示されます。

画面をタップしたまま一方向に指を動かすと、付近のウェイポイントリストを

みることもできます。

以下は Goto ダイアログで分別することができます。表示非表示の変更はコラムヘッダーをクリックして下さい。

- 名前
- タイプ
- Crs=コース
- 到着地の高度
- 目安となる L/D(揚抗比)
- コード（ショートネーム）

上記のコラムのサイズを変更したい場合は、そのコラムの枠をドラッグします。
コラムの順番を変更したい場合は、ヘッダーをドラッグして下さい。
表示されているウェイポイントをタップすると、選択した地点へのナビが開始されます。

３．１．２　空域

マップ内に表示されている空域をタップすると、その空域の情報をみることができます。
初期の状態では、タップした周辺にある全ての空域が表示されています。特定の空域を非表示にしたい場合は Always、Today、5minutes の中から非表示にしたい設定時間を選択してください。または Activate ボタンで非表示だった空域を再度表示することが出来ます。
Show all のチェックボックスを選択することで、空域リストを表示します。このリストからマップ上に表示したい空域、非表示にしたい空域を選択することができます。いくつか複数の空域の非表示設定をしたい場合などに、まとめて設定できます。

３．２　グライダーポジション

下記画像にある矢印は、グライダーの現在いる位置を常に表示しています。矢印の指す方向はグライダーがそのとき進行している方向を表しています。
矢印をタップしたまま、ドラッグすることで、現在地からマップを動かすことが出来ます。
矢印の大きさを Menu→Settings→Symbols で変更することが出来ます。

３．３　北を示す方向位

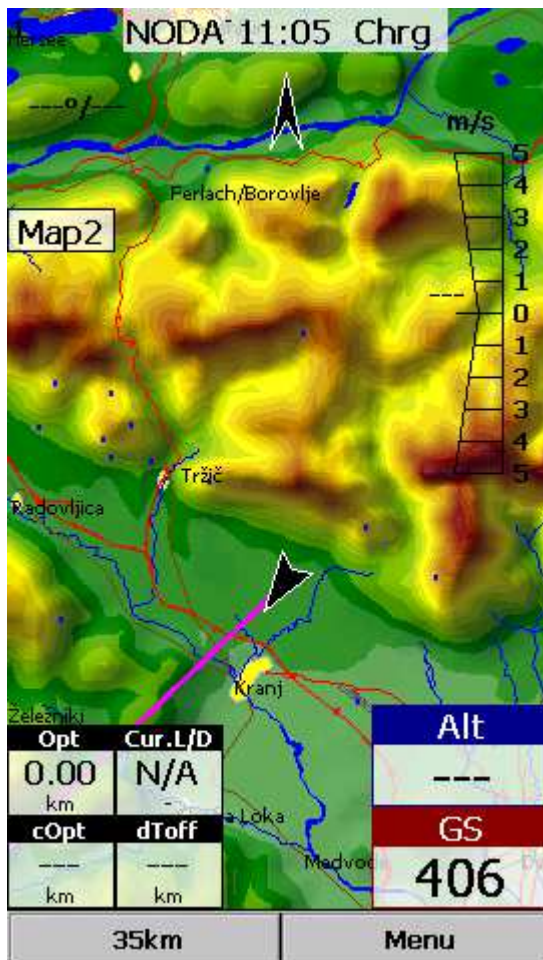
Oudie3 のマップの方向位についてですが、マップは常に北を上に示した状態で表示していません。そのため、画面上にある北を示す方向位が正しい北の方向を示しています。北を示す方向位をタップすることで、マップの方向位に関する設定を変更することが出来ます。
North, East, South, West Up は、選択した東西南北いずれかの方向が常にマップの上部にくるように設定されます。
Goal Up は選択された地点を、Track Up はフライトした経路がマップ上部にくるように設定されます。
画面を自由にパンすると、方向位がパンモードになります。方向位をタップすることで、通常のマップ方向位のモードに戻ります。

※　「マップの方向位」もご覧下さい。

３．４　ウィンドベクトル

ウィンドベクトルは風向、風速を示しています。
下記のマークをタップすることで、風に関するダイアログを開くことが出来ます。Menu→Wind でも同様に開くことが出来ます。

３．５　ベクトル地図

Oudie 3 はデスクトップバージョンの SeeYou 同様、マップの地形表示に CIT マップを使用しています。世界中のマップがすでに内蔵されています。
マップに関する設定は、Setup Map ダイアログから行うことができます。

３．６　空域警告

Oudie3 は進行方向の先を読んで、空域に入る前に警告ができるようにしています。
初めて使うときのパートにある、空域警告の作動をご覧下さい。

３．７　Navboxes

Oudie3 に内蔵されている Navboxes 機能は自由にカスタマイズすることができます。使用したい Navboxes の選択、表示する大きさ、表示する位置などを設定することができます。

Map1、Map2 それぞれ使用する用途が異なることを想定して、二つのマップそれぞれに異なる Navboxes 設定を行えるようになっています。例えば、一つのマップは通常のナビ、もう一つはウェイポイントへのアプローチに関する詳細な情報を見られるよう設定されたマップ、というように分けることが出来ます。

※　「Settings→Navboxes」もご覧下さい。

３．８　アニメーションスピード

ファイル読み取りモードの状態で、IGC リプレイファイルを選択すると、グライダーの速度と位置を設定することが出来ます。このダイアログを開くには、マップ画面右上にあるアニメーション速度ボックスをタップしてください。

- Pause ボタン：アニメーションを一時停止する
- Rate ボックス：アニメーションの速度を設定します。数字が大きければアニメーションが速くなり、マップ画面の改めた速度が遅くなります。携帯用機器ではこれ以上の設定をすることはできません。
- Slider：向かっている地点へ移動することが出来ます。

３．９　コマンドバー

画面の下部はメニューになっています。（画面下のメニューを非表示にしたい場合は、Settings→Miscellaneous で変更することができます。）

メニューでは、Settings→Commands で、５つのショートカットボタンを設定することが出来ます。テーブルボタン１と２、それぞれで作動するものを変更してください。

1km	Menu

パート４　インフォメーション

この画面では、現在地に関する基本情報をみることができます。ランディングした位置情報を確認する際やセットアップが正しいかどうか確認する場合などに使用して下さい。

Position：現在地と現地の日時を表示しています。

Altitude：QNH 高度値、フライトレベル、地上からの高さを表示しています。

Sunrise and Sunset：現地の日照日没時間を表示しています。(UTC 解除を正しくして下さい。)

Status (Battery: Chrg)

FILE: Ok, A

Position

N45°56'29" - E013°51'39"
12/30/1899 9:42:11 AM
Team code: ----

Altitude

Altitude:	1772m	5814ft
Fl.Level:	1772m	5814ft
Height:	702m	2303ft

Sunrise & Sunset

6:46:59 AM - 3:28:26 PM

Back　Menu

パート５　統計

統計画面では、サーマルとフライトに関する詳細情報をみることができます。
下記の統計はタップすることで別の統計情報に変更することができます。

- Flight statistics：フライトに関する統計
- Task statistics：タスクに関する統計
- Last 60 minutes statistics：一時間以内に統計された情報

Thermal パネル：最近のフライトでのサーマル情報を 4 つ表示します。左から新しいものを時系列に表示しています。グラフ上部にはそれぞれサーマルの平均値が表示され、グラフの長さは他の 3 つのサーマルとの距離を示しています。右の数値は表示している 4 つのサーマルの平均値です。マッククレディ設定にご利用ください。

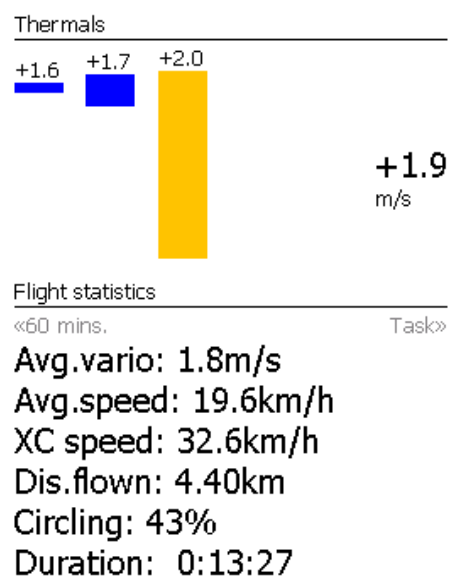
Flight statistics：上昇の平均値、平均スピード、飛行距離、サークリングの割合、飛行時間を表示します。飛行距離は、Navbox の「Opt」内にある距離と同様です。

Task statistics：タスク開始時からの平均値を表示します。

Last 60 minutes statistics：1 時間内のゴールタスクまたは適用タスクまでのレースに関する平均値を表示します。

Back ボタンでマップ画面に戻ります。

Avg.vario: 1.8m/s
Avg.speed: 19.6km/h
XC speed: 32.6km/h
Dis.flown: 4.40km
Circling: 43%
Duration: 0:13:27

Back　Menu

パート６　メニュー

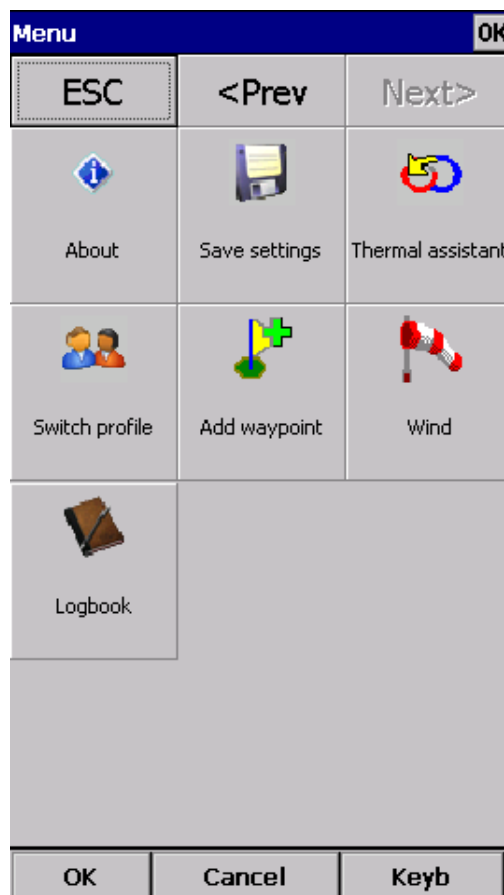
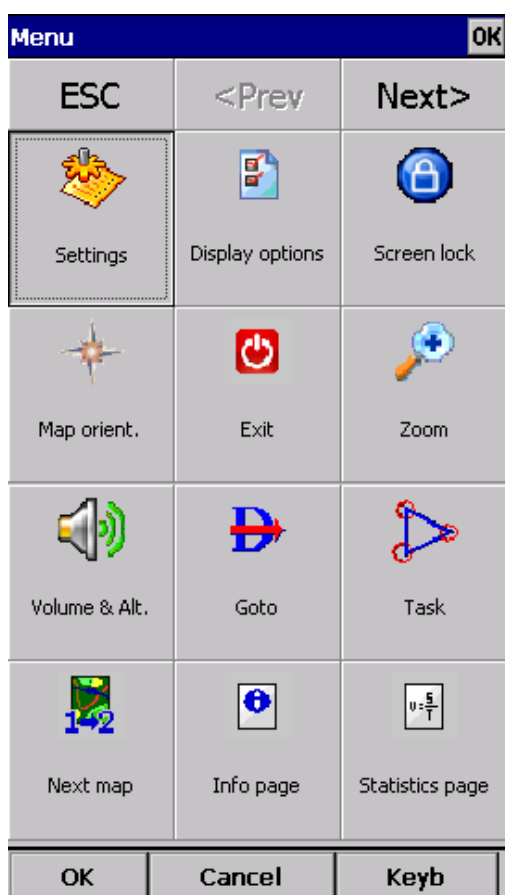
メニューは、よく使うもの、すぐ使う機能をカスタマイズできます。メニューは 2 ページあります。

ページ 1：

- Esc：エスケープキー
- <Prev and Next>：戻る・進む
- Settings：設定
- Display Options：ディスプレイのオプション
- Screen Lock：スクリーンロック
- Map Orientation：マップの方向位
- Exit：閉じる
- Zoom：拡大
- Volume & Alt.：ボリュームと高度
- Goto：ナビゲーション
- Task：タスク
- Next Map：次のマップ
- Info page：インフォメーション
- Statistics：統計

ページ 2：

- About：Oudie3 について
- Save Settings：設定を保存する
- Thermal Assistant：サーマルアシスト
- Switch Profile：プロフィールを変更する
- Add Waypoint：ウェイポイントを追加する
- Wind：風向風速情報
- Logbook：ログブック

このメニューの順番は初期のもので、Settings→Menu で順番を変更することが出来ます。

６． １　Esc：エスケープキー

マップ画面に戻ります。

ESC <Prev Next>

６． ２　<Prev and Next>：戻る・進む

ページを戻す、または進めるときに使用します。（メニュー内のページ）

６． ３　Settings：設定

様々な設定を変更できる、設定ダイアログを開きます。

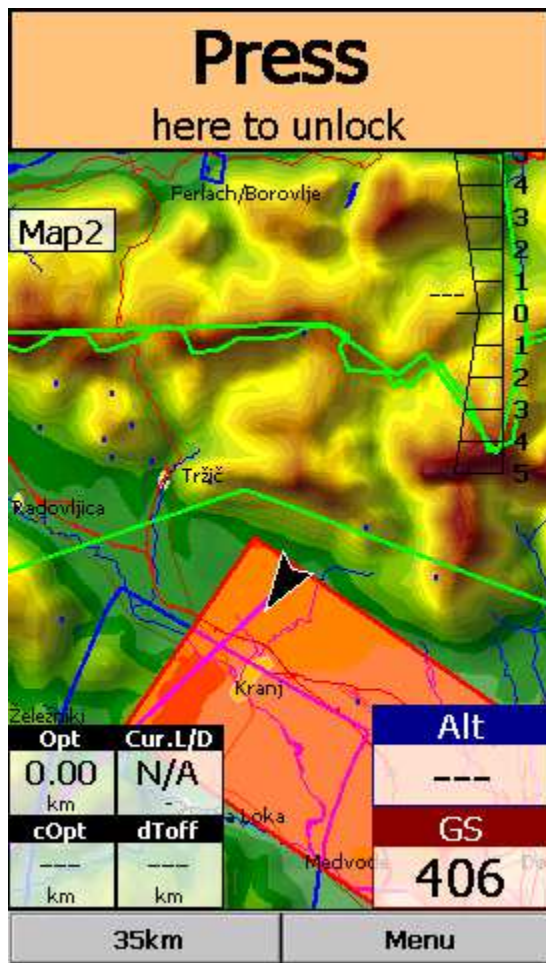
マップや Navboxes などはマップ１とマップ２それぞれに設定ができますが、ユニットやコマンドなどの設定はすべて同じ統一のものとなります。

６．４　Display Options：ディスプレイオプション

マップ画面上に表示、または非表示にしたいものをここで設定することができます。

Menu		OK
ESC	<Prev	Next>
Map	Air- space	Way- points
Task	Nav- boxes	Track
Flarm radar	FAI Area	Target
Distance circles	Triangle optimization	Terrain
OK	Cancel	Keyb

Menu		OK
ESC	<Prev	Next>
Track vector	Terrain collision	Task bar
Flarm labels	Flarm traces	Thermal assistant
Command bar	Distance to airspace	Optimi- zation
OK	Cancel	Keyb

６．５　Screen Lock：スクリーンロック

画面操作をロックします。マップの拡大・縮小やタスクのターンポイントの確認などはロックされないので、フライト中に使用してください。
ロックを解除したいときはMenuボタンを押し、下記画像にある、画面上部に表示されるバーをタップして下さい。

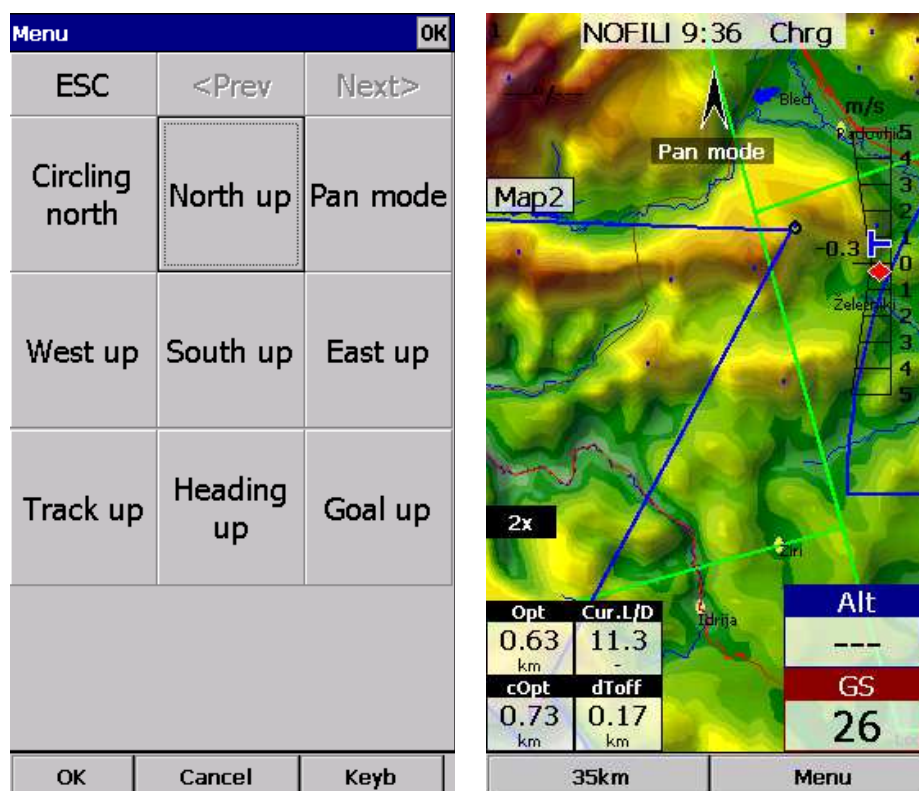
６．６　Map orientation：マップの方向位

マップの表示方法を設定することができます。

- Circling North：フライト方向に合わせてマップが動き、サークリングをしているときは北がマップの上になります。ノースアップでフライトしたくない場合に使用してください。
- North up：北の方向を常に上に、マップを表示します。
- East up：東の方向を常に上に、マップを表示します。
- South up：南の方向を常に上に、マップを表示します。
- West up：西の方向を常に上に、マップを表示します。
- Goal up：ナビを設定している地点の方向が、画面上部に表示されます。
- Track up：飛行した経路の方向を画面上部に表示します。

- Heading up：そのとき向かっている方向を画面上部に示した状態で、マップが表示されます。向かっている方向は、トラックベクトルからウィンドベクトルを引き算して、計算されています。
- Pan mode：パンモードではマップを自由に移動、拡大・縮小、回転させるなど様々なことができるようになっています。コースの詳細を確認したい場合に使用してください。

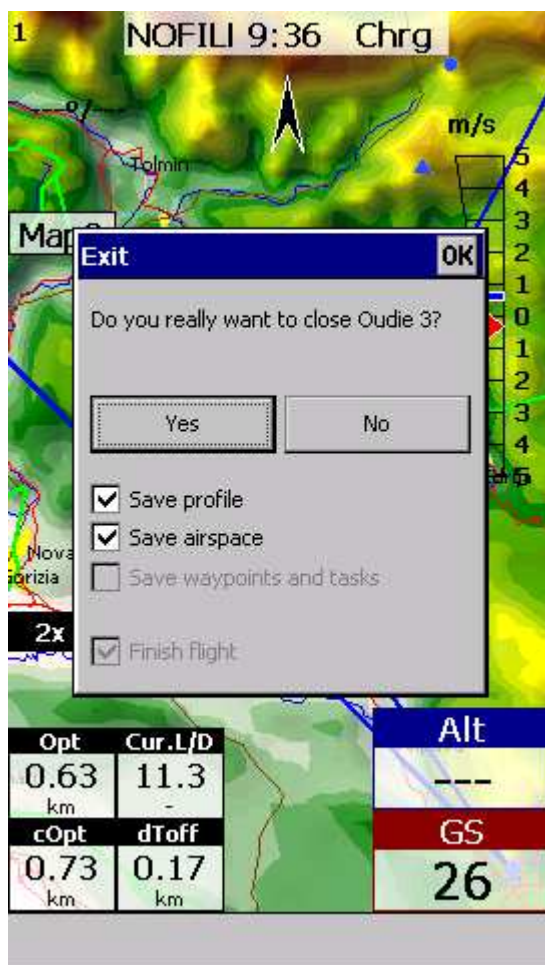
パンモードでマップを動かしたい場合は、その方向に指をドラッグしてください。マップを回転させたい場合は、画面右または左下にわずかに指をドラッグさせてください。少しマップがドラッグした方向に移動しますが、中心を軸にマップが回転します。パンモードの状態で１０秒以上操作がない場合は、それ以前の設定しているマップの方向位の状態に戻ります。

マップ上にある北の示している方向位をタップすると、マップの方向位を設定できるショートカットが表示されます。

※ 「北方位マーク」もご覧下さい。

６．７　Exit：閉じる

起動中のアプリケーションを終了します。

終了する前に、下記の選択が表示される場合があります。

・ プロフィール変更を保存する
・ ウェイポイントとタスクの変更を保存する
・ FLARM 名の変更、追加を保存する
・ SeeYou G レコードの IGC ファイルに書き込んで、フライトを終了する

６．８　Zoom：拡大

Zoom ダイアログでは、画面に表示するマップの大きさを選択することができます。

0.1km, …2km, 5km, …35km, 50km…のように、マップの表示したい大きさを設定して下さい。距離の単位はキロメートル、法規マイルまたは海里で表示されます。

Target：ターゲットにしている地点とグライダーの現在地をマップ画面上に表示した状態にすることができます。

Menu OK

ESC	<Prev	Next>
0.1km	0.2km	0.5km
1km	2km	5km
10km	20km	35km
50km	100km	Target

OK Cancel Keyb

６．９　Volume & Altitude：ボリュームと高度

フライト情報のダイアログボックスを開き、下記の情報を入力できます。

- Take off altitude：テイクオフした地点の高度
- QNH
- MacCready setting：マックＣレディ設定
- Altitude reserve：獲得高度
- Volume：バリオボリューム

＜Take off altitude＞

テイクオフした地点の高度を変更することが出来ます。正しいグライドナビのために、この高度を正しく設定してください。周囲に高度差のあるウェイポイントや地形がある場合、このダイアログの上部に地点の高度設定の指示がでま

す。

＜QNH＞

スタート地点の気圧の変更、またはフライトの中での QNH 気圧の数値を変更してください。

＜MacCready＞

マッククレディ設定を変更することが出来ます。目安の数値は、統計ページと他の Navboxes から算出できます。

＜Altitude reserve＞

予備高度を設定することで、全てのファイナルグライドに関する計算は補正されて行われます。この数値が 0 以上の場合、ウェイポイントのデータベースにある地点高度より、その数値分だけ到着高度が高いことを示しています。（この地点高度は実際の高度とは異なる場合があります。）

＜Volume＞

バリオメーターの数値を変更してください。

６．１０　Goto

Goto ダイアログは地点へのナビをすばやく開始することができます。起動には下記の方法があります。

・ マップをタップする：ウェイポイントはタップされた位置から近いものが表示されます。そのため、マップの拡大には制限がありますが、タップして選択したい地点をタップすると、スムーズです。
・ メニューから：Menu→Goto の手順で Goto ダイアログを開くと、ウェイポイントはタイプ別、次に距離別で表示されます。

Details ボタンを押すと、選択されているウェイポイントの詳細情報をみることができ、編集することが出来ます。10 秒間操作がなかった場合、または OK・Goto ボタンを押すと自動的に閉じます。

ウェイポイントのリストは膨大ですので、アルファベット順に特定の地点をみつけることができるフィルター機能をご利用ください。フィルターキャプションはコマンドバーに表示されます。（下の画像をご覧下さい。）

画面下のメニューバー上部に、最近選択されたウェイポイント 3 地点が表示されます。

６．１０．１　Details overview：詳細情報をみる

Goto ダイアログ、または Cursor Info – waypoints ダイアログ内のメニューオプションにある Details を選択した際、このウィンドウが開きます。ウェイポイントに関する基礎情報を表示します。

Edit Waypoint または Edit Description ページでウェイポイントの情報を編集、削除することが出来ます。コマンドバーにある＜＜または＞＞ボタンで、上記のページを見て下さい。

６．１０．２　Edit Waypoint：ウェイポイントを編集する

ウェイポイントを編集、削除できます。

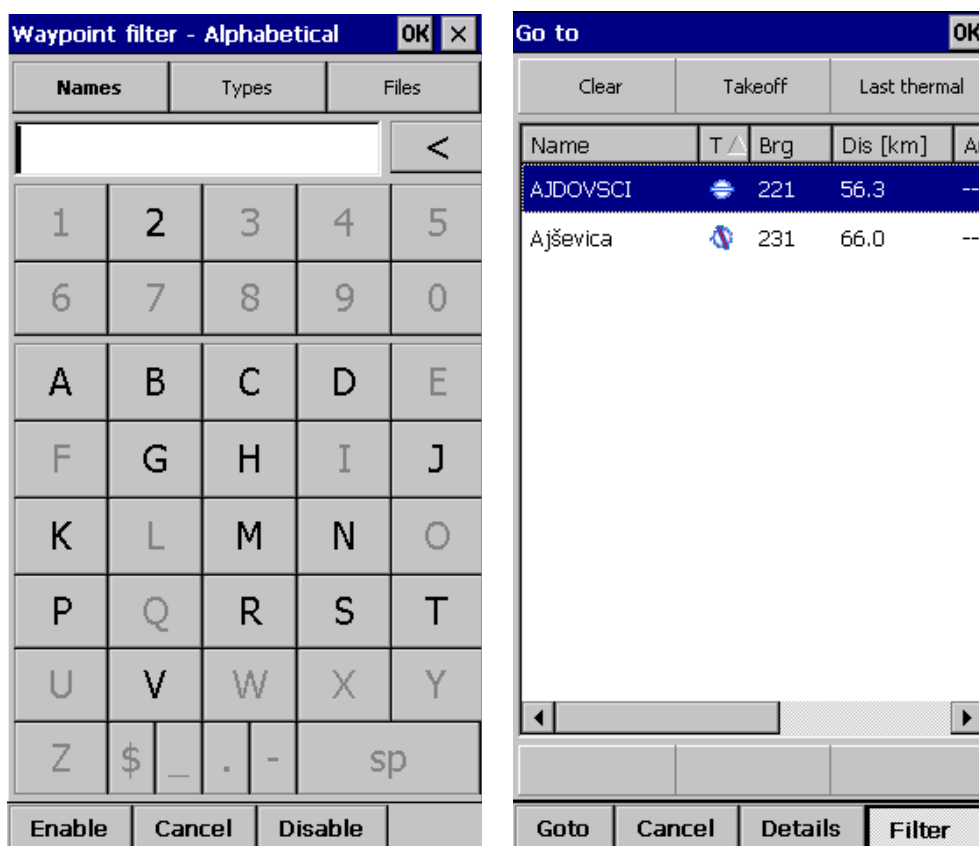
Goto または Cursor Info ページ内にあるメニューオプションの Details ボタンを押し、一度＞＞ボタンを押すと、このウインドウを開くことが出来ます。

キーボードで入力せずに、++、+、-、--ボタンを使用して下さい。

６．１０．３　Waypoint filter：ウェイポイントフィルター

ウェイポイントのインプットのために複数のファイルを使用しているため、ユーザーが選択しやすいようにウェイポイントを整理できるようになっています。整理方法は下記の通りです。

・ アルファベットフィルター：ウェイポイントの名前入力で、検索ができます。画面内に収まる時点でリストが表示され、ウェイポイントを検索結果から選択することが出来ます。下の画像①は「MAL」と入力されているフィルター画面、画像②はその検索結果のリストです。

・

・ ファイルフィルター：分別されたファイル別にウェイポイントを表示、または非表示にすることができます。下の例では、4 地点のうち、Settings→Filesで選択されたもの 2 地点のみが Goto ダイアログで表示されています。

※ 「Goto ダイアログ」「詳細をみる」「ウェイポイントを編集する」もご覧ください。

６．１１　タスク

表示リスト内のタスクの編集と入力をすることができます。

103.2km-106.1km-Polygon　OK

Start: SS-B01164			0.40km
251°	2.71km	2.71km	
1. A28089			0.40km
251°	25.4km	28.1km	
2. A07015			0.40km
310°	15.3km	43.4km	
3. A14027			0.40km
60°	24.1km	67.5km	
4. A80181			0.40km
136°	27.8km	95.3km	
5. A32139			0.40km
44°	7.92km	103km	
Finish: ES-C01043			0.40km

Options　Insert　Edit　Goto

OK　Cancel　Tools　Keyb

表示リストまたは表示マップ、どちらからでもタスクの編集をすることができます。

６．１１．１　リストを編集する

表示リストからタスクを入力するのが最適です。キーボードを表示し、ウェイポイント名を入力して下さい。アルファベット順で自動的にウェイポイントを検索し、表示します。右または左ボタンでアルファベット順に表示されている検索されたウェイポイントの中から、選択したいものをみつけてください。初めて使うときのパートにある「タスクを入力し、フライトする」をご覧下さい。Edit ボタンを押すと、地点編集ダイアログが開きます。観測地帯（シリンダー、ライン、FAI セクター）、スタートスピードセクション、エンドスピードセクションなどの設定変更ができます。Insert（入力）と Delete（削除）ボタンでタ

スク編集を行って下さい。

Options ボタンでタスク設定をすばやく行うことが出来ます。

コマンドバーから下記の動作を選択できます。

- OK：設定変更の決定
- Cancel：変更をキャンセルする
- Tools：地点編集、削除、入力、地点を上下に動かす、タスクを逆にする、タスクを読み込む、保存、削除、タスクオプションの設定などができます。
- Keyb：ウェイポイント名の入力にキーボードを使用できます。

最終高度が 0 に設定されている場合、誤った高度でファイナルグライドをしないよう、警告ダイアログが起動します。

６．１１．２　マップ編集

SeeYou のグラフィックタスク編集と同様の方法で行うことが出来ます。

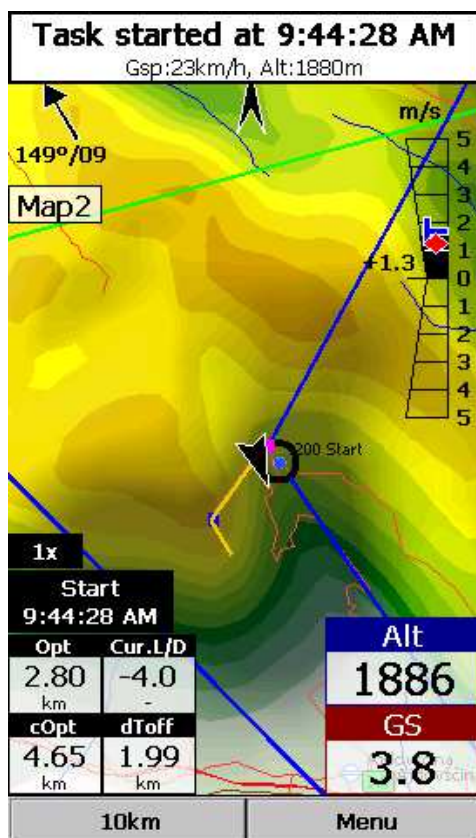
○マップを動かすには、ウェイポイント以外の画面のどこかをタップし、動かしてください。

○ウェイポイントを動かすには、ウェイポイントをタップし、動かして下さい。FAI トライアングルがスムーズに行えるよう、FAI エリアを表示しています。

○タスクからウェイポイントを削除するには、ウェイポイントをタップし、タップしたままホールドしてください。

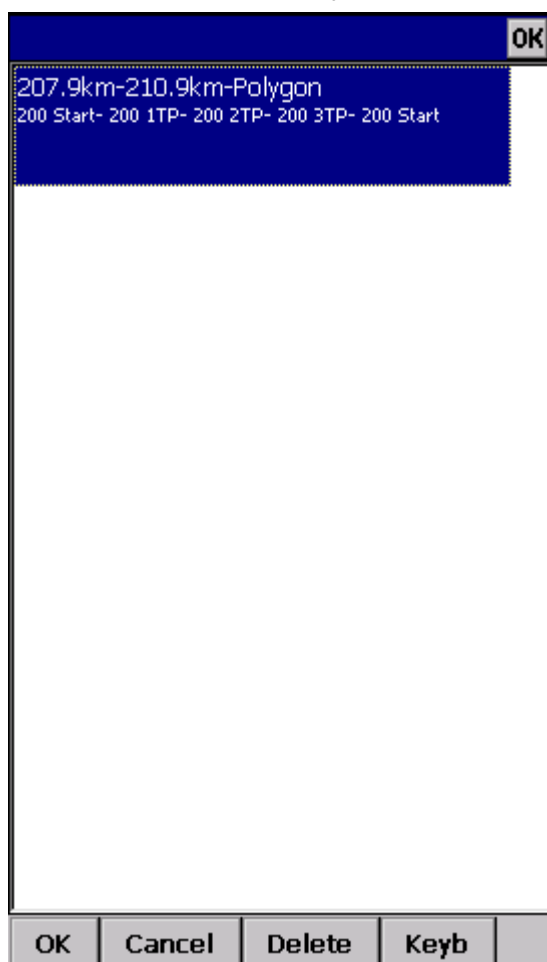
○レグの間にポイントを追加する場合は、レグをタップし、タップしたままホールドして下さい。

○タスク終了地点のウェイポイント追加をするには、レグとウェイポイント以外のマップ画面のどこかをタップしてください。

- Zoom：マップの拡大と縮小をしながら、マップをタップして動かし、ウェイポイントを探して下さい。
- OK：設定変更の決定
- Cancel：変更をキャンセルする
- Edit : 地点の編集、削除、入力、タスクを逆にする、タスクのコピー、削除、編集ができます。
- List：マップ画面に移動する

６．１１．３　地点編集

- Point：ウェイポイント名を選択して下さい。表示リストからタイピング入力するのが最適です。
- Elev=Elevation：選択された地点の引用高度です。ファイナルグライドの計算の際、考慮されています。
- Sector type：ウェイポイントのセクタータイプを選択します。初期設定はシリンダーになっています。
- Radius：SeeYouPC 版と同様、セクターの半径を変更できます。
- Point Type：ポイントタイプは、スタートスピードセクション、タスクポイント、エンドスピードセクションから選択できます。スタートスピードセクションを選択した場合、ゲートタイム、ゲートインターバル、スタートタイプ(エントリー、イグジット)を選択する必要があります。
- 画面下にあるボタンで、正確な値を素早く入力することができます。

６．１１．４　タスクを読み込む

Menu→Task→Tools→Load task でダイアログを開きます。タスクのリストとマップ両方から開くことができます。データベースからタスクを選択し、OK ボタンを押してタスクを起動してください。変更をキャンセルするには、Cancel ボタンを押して下さい。

６．１１．５　タスクオプション

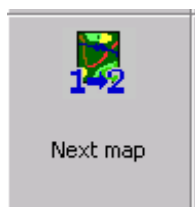
Menu→Task→Tools→Options で開きます。

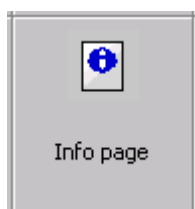
- Description：タスク名を作成します。タスク A(1)、タスク B(2)と名前をつけると、大会ブリーフィングで有効です。
- Start speed section：スタートスピードセクションとなるウェイポイント、ゲートタイム、インターバル、インターバルの数を設定します。レーストゥゴールの初期設定はエントリースタートです。
- End speed section：スピードセクションの終了地点と形を選択して下さい。

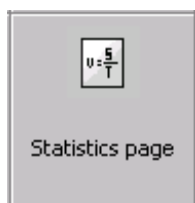
・ Task deadline time：タスク制限時間を入力すると、制限時間１５分前に警告が鳴ります。
・ Assigned area task time : 設定エリアまでのタスク飛行時に使用して下さい。フィニッシュ地点までの必要な速度とタスク終了までの時間の表示に必要となります。
・ MC (MacCready)：マクレディ理論をベースにフライトした場合、平均上昇値の設定ができ、最良速度を確認することができます。
・ Navigate by the shortest route チェックボックス：タスク遂行時、目安となる最短距離を自動的にナビします。

＋と−ボタンを使用すると、すばやい数値設定ができます。

６．１２　Next Map：次のマップ

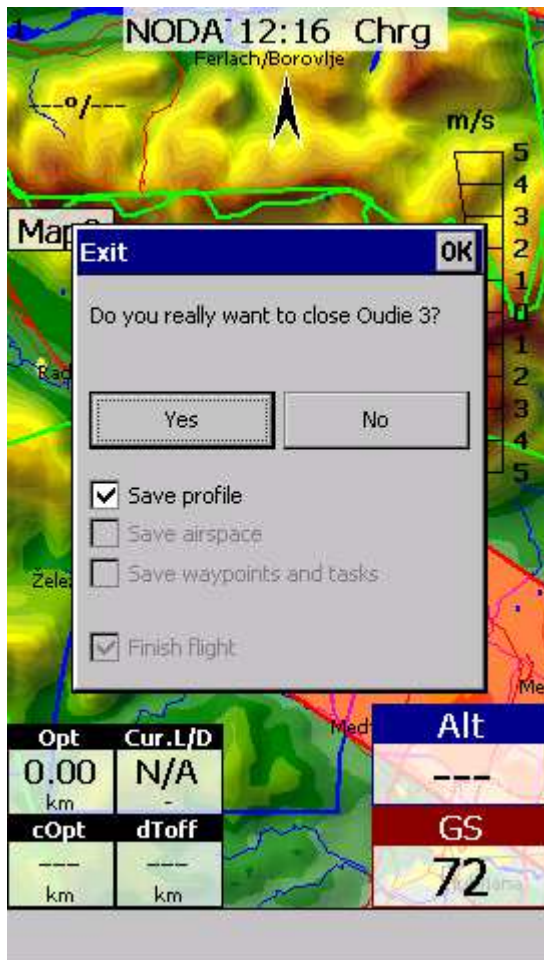
Map1 を見ている際、この機能を選択すると、Map2 に切り替わるといったように、Map1 と Map2 のマップの切り替えをします。

６．１３　Info page：インフォメーション

※「インフォメーション」をご覧下さい。

６．１４　Statistics：統計

※「統計」をご覧下さい。

６．１５　About：Oudie3 について

使用している機器のシリアルナンバーとバージョンを確認できます。バージョンのアップグレードは無料で、http://www.oudie3.com で行うことができます。

６． １６　Save settings：設定を保存する

フライト情報を設定した際、その設定を保存します。

６． １７　Thermal assistant：サーマルアシスト

※「サーマルアシストを使用する」をご覧下さい。

６． １８　Switch profile：プロフィールを切り替える

Oudie3 を再起動し、別のプロフィールとの切り替えをします。

※「フライトプロフィールを使用する」をご覧下さい。

６．１９　Add Waypoint：ウェイポイントを追加する

ウェイポイントの編集、削除ができます。

Menu→Add Waypoint または、メニューのショートカットボタンから行うことができます。

＋、＋、－、－ボタンでキーボードを使用せずに、数値入力ができます。

新規追加したウェイポイントへのナビを始めるには、Goto ボタンを押して下さい。少ない操作で以前の位置に戻れるので、サーマルの上昇をとらえたいときなど、素早く移動したい場合にお使いください。

<UTM カリキュレーター>

このツールを使って、通常の UTM 形式、またはその逆へ変換できます。
Oudie3 では UTM 形式を直接入力することが出来ません。そのため入力された UTM を緯度・経度(度分秒)に変換することで、使用できます。

－変換の仕方－
上図の MENU→Add waypoint 画面→UTM
上図の画面になり、現在地の緯度経度が表示されるので、keyb(キーボードを使って)削除します。
その後 UTM を Zone, Easting,Northinge に入力、
“UTM　to Lat/Lon”を押すと緯度経度に変換されます。
OK を押せば座標が入力されています。

６．２０　Wind：風向風速情報

風に関する様々な情報を 3 次元でみることができます。1 層または複数層の風情報を素早く把握することができます。

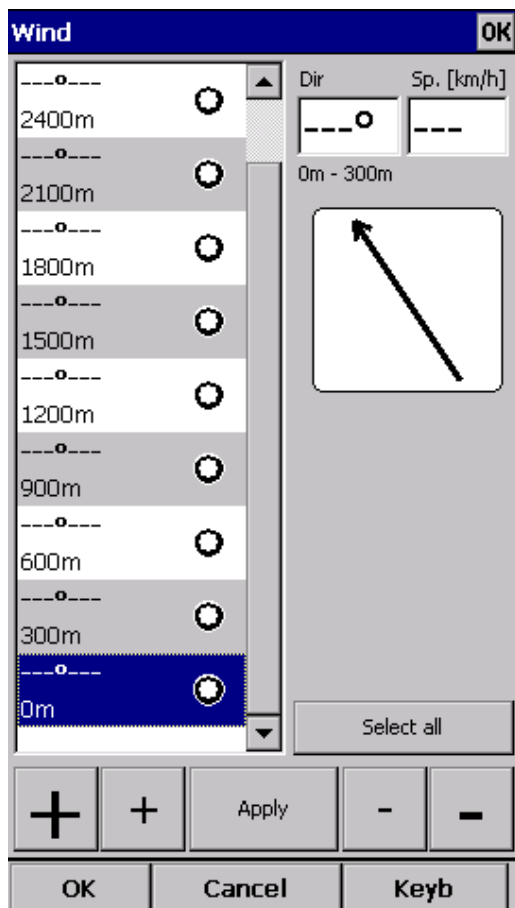
風情報を変更するには、

① ダイアログの左側へドラッグして、1 層または複数層を選択して下さい。

② 右下の四角い部分にウインドベクトルが描写されます。

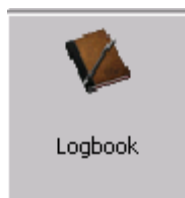
③ 線が長いと、より風が強いこと、矢印の方向は風向を示します。

④ 風向と風速を必要な場合は画面下のボタンで調整して下さい。

⑤ Apply ボタンを押し、OK を選択して下さい。

Oudie3 は、風向風速を 3 つの方法によって計算します。

- 緯度、経度を用いた位置変化
- GPS の対地速度と軌跡を用いた対地速度の違い
- 対地速度と対気速度を計器から受け取った際の直線飛行の組み合わせ。この場合、うまく直線飛行をすると情報が更新されます。

６．２１　Logbook：ログブック

機器内のフライトリスト、また IGC ファイルにある場合はグライダーとパイロットの情報を見ることが出来ます。

パート７　設定

あらゆる機器の設定をすることができます。マップや Navboxes などはマップ１と２それぞれに異なる設定ができますが、単位やコマンドなどは機器全体統一になります。
下記のものが設定変更できます。

・ Map
・ Airspace
・ Waypoints
・ Track & target
・ OLC & FAI area
・ Task
・ Navboxes
・ Symbols
・ Warnings
・ Thermal
・ Polar
・ Units
・ Fonts
・ Input
・ Commands
・ Menu
・ Files
・ Log
・ User interface
・ Miscellaneous
・ Hardware

７．１　マップ

表示マップの設定ができます。この機器は SeeYou デスクトップバージョン同様、地形図表示に CIT マップを使用しています。

・ Show map チェックボックス：ベクトルマップの表示をします。

・ Terrain：地形図表示の設定をします。オフの状態では、水域、道路、線路、地名、ラベルのみを表示します。Low 等値線の設定では約３００m 間隔で、medium 設定では約１００m 間隔で、high 等値線の設定では、SeeYou デスクトップバージョン同様の地形図になります。
・ Scheme：新しい機器では、スキームごとの色の設定をすることができます。山の地形図に High Contrast（明確な色のコントラストをつける）、通常のナビに ICAO、平地面に Open Street Maps カラースキームの設定をおすすめします。Custom カラースキームを設定した場合、ユーザーカラーとマップ上の他情報の色設定をしてください。

７．１．１ スキームプロパティ

高度や地形図上のシンボルの色を設定することができます。
カラースキームの色設定は下記の通りです。
① 画面左の高度バーをクリックします。

② 「color at ××meters」の部分で色を変更します。高度は選択したものが表示されます。４ー６カ所の異なる高度ごとにこの設定をします。

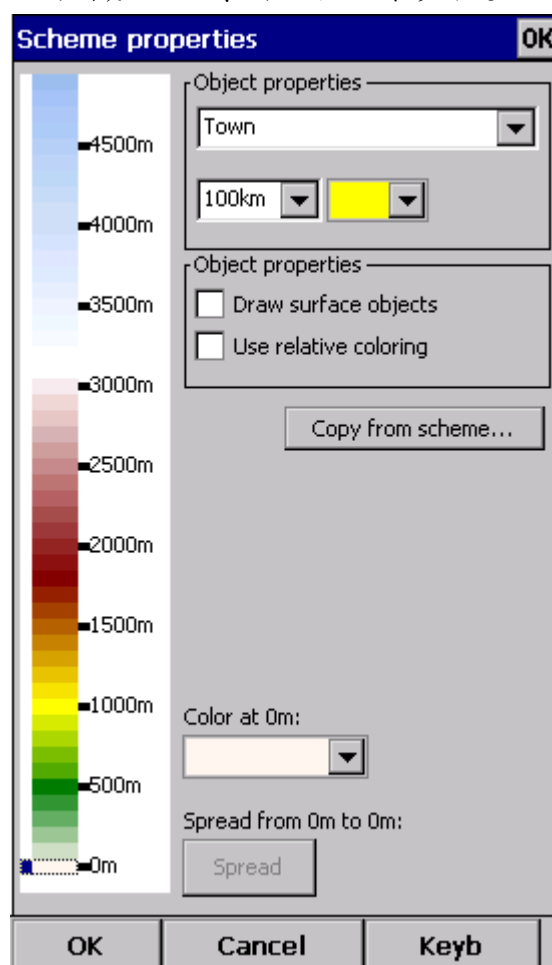
③ 高度から次の高度へドラッグする際、機器に付属されているスタイラスペンを使用して下さい。

④ Spread（拡張）を押します。

⑤ これを繰り返します。

・ Object properties：地形図上のシンボルの大きさと色を設定できます。

・ Draw surface objects：新しい Open Street Maps の場合、森と芝生のある場所を表示します。

・ Use relative coloring：現在地の高度と同じ高度地を同じ色に設定できます。この設定をすることにより、地上や山の傾斜などへの衝突を防ぐことが出来ます。Scheme ボックスで relative カラーを選択し、どのように作動するか確認してみてください。マップのカラーコーディングに関しては、専門的な知識のため、インターネットなどで検索してみて下さい。

７．２　空域

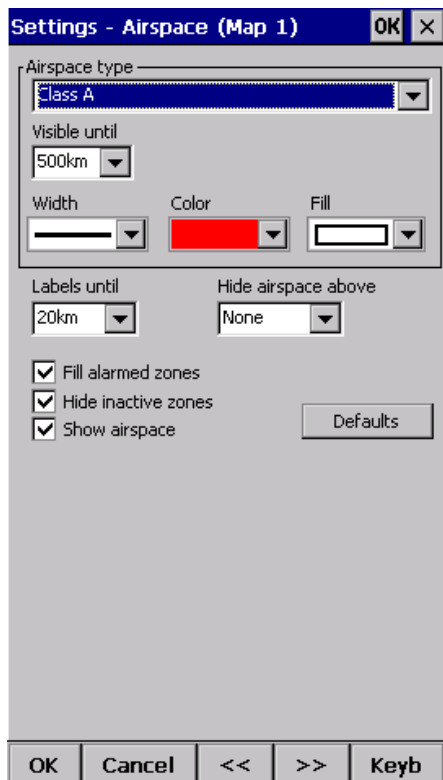
表示空域と空域警告の設定が出来ます。

Type パネルでは、空域の表示タイプを設定できます。それぞれタイプごとに空域を設定してください。ドロップリストの選択肢の中から、空域のタイプを選択し、Zoom ドロップリストで空域の拡大レベルを選択してください。Warn me チェックボックスを選択すると、選択された空域に入る前に警告が作動します。Fill ドロップリストでは選択されている空域の枠の表示､非表示を設定できます。また Color ドロップリストでは、空域の色を設定できます。

Labels zoom ドロップリストで、空域のラベル（空域名）の表示をどの程度の拡大マップで表示するかを設定できます。

Fill alarmed zones のチェックボックスを選択すると､警告されている空域が明確な色で表示されます。

Hide inactive zones のチェックボックスを選択すると、過ぎた空域をマップ画面上で非表示にできます。

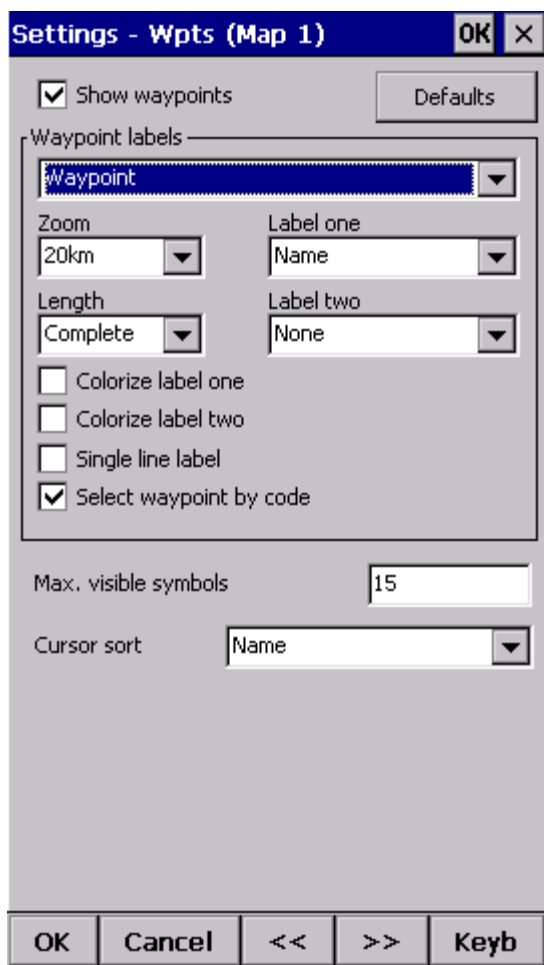
Show airspace のチェックボックスを選択すると､表示マップで空域が表示されます。Hide airspace above ドロップリストでは、画面表示を選択した高度より上にある空域の非表示設定をすることができ、マップ画面を見やすくすることができます。

７．３　ウェイポイント（Wpts）

ウェイポイントのシンボル、ラベル 1、ラベル 2 の表示を設定することが出来ます。

・Type パネルで地点のタイプを選択でき、タイプ別にシンボルが異なっています。

・Zoom では、どのくらいのマップ拡大からラベル名を表示するかを選択できます。

・LabelOne では空域名など、ラベル 1 で何を表示するか、LabelTwo ではラベル 2 で何を表示するかを選択できます。

・ Length は、ラベル 1 と 2 の表示名をマップ上に何文字表示するかを設定します。
・ Colorize label one/two は、グライドスロープ上に設定しているウェイポイントが位置しているかどうかを緑かオレンジ色でラベルを表示します。設定されているマクレディ値のグライドスロープ上にある場合は緑、マクレディ値から 0 の滑空範囲の場合は、オレンジ色にラベルが表示されます。
・ Single line label を選択すると、ラベル名が 1 行以内で表示されます。
・ Max number of visible symbols は、アイコン表示されるウェイポイントの制限数を設定します。
・ Cursor sort は、ターゲットのウェイポイントを選択するときに使用する Up または Down キーをクリックした際に、表示されるウェイポイントの順番を設定できます。初期設定では表示名順ですが、表示名、コード、スタイル、コース、距離、ランディング時の高度、目安となる L/D または Goto ダイアログで選択されたものと同様の順番のいずれかを選択することができます。
・ Show waypoints チェックボックスで、ウェイポイント表示、非表示を選択できます。
・ Defaults ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

７．４　トラック経路とターゲット

マップ画面上の表示を設定できます。

＜Track パネル（Flight trace）＞

フライトしたトラック経路の色（Color）と幅（Width）を設定することが出来ます。Length では、分単位で経路を表示する時間を設定して下さい。Show vario が選択された場合は、経路がバリオメーター表示と共に表示されます。Show track チェックボックスでは、経路の表示、非表示を選択できます。

＜Current track vector パネル＞

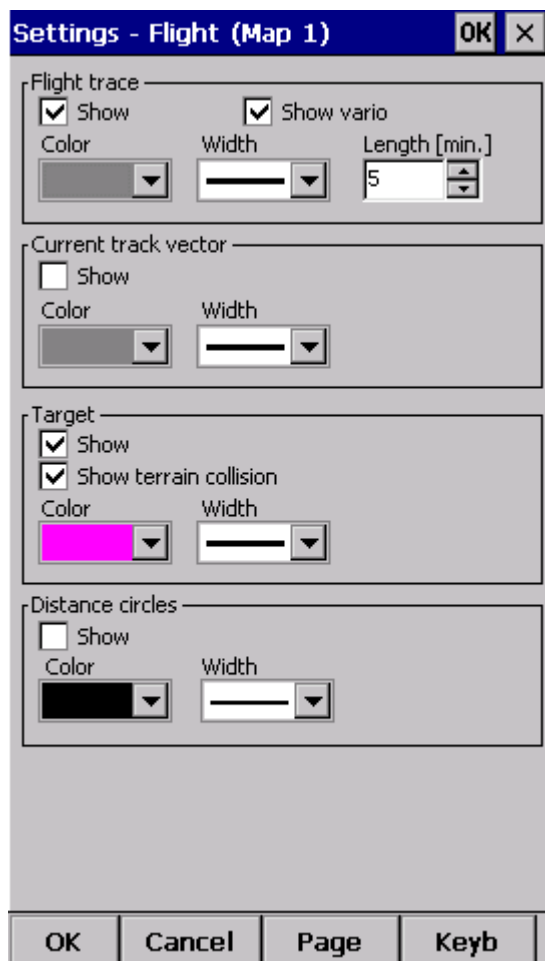
Show では現在地からターゲットまでの推奨航路を表示します。色（Color）、幅（Width）、表示時間（Length）はパネル内で設定できます。

＜Target パネル＞

ナビを設定しているターゲットと現在地を結ぶ直線を表示します。直線の色（Color）と幅（Width）を設定して下さい。また、着陸予定地点（Terrain collision）

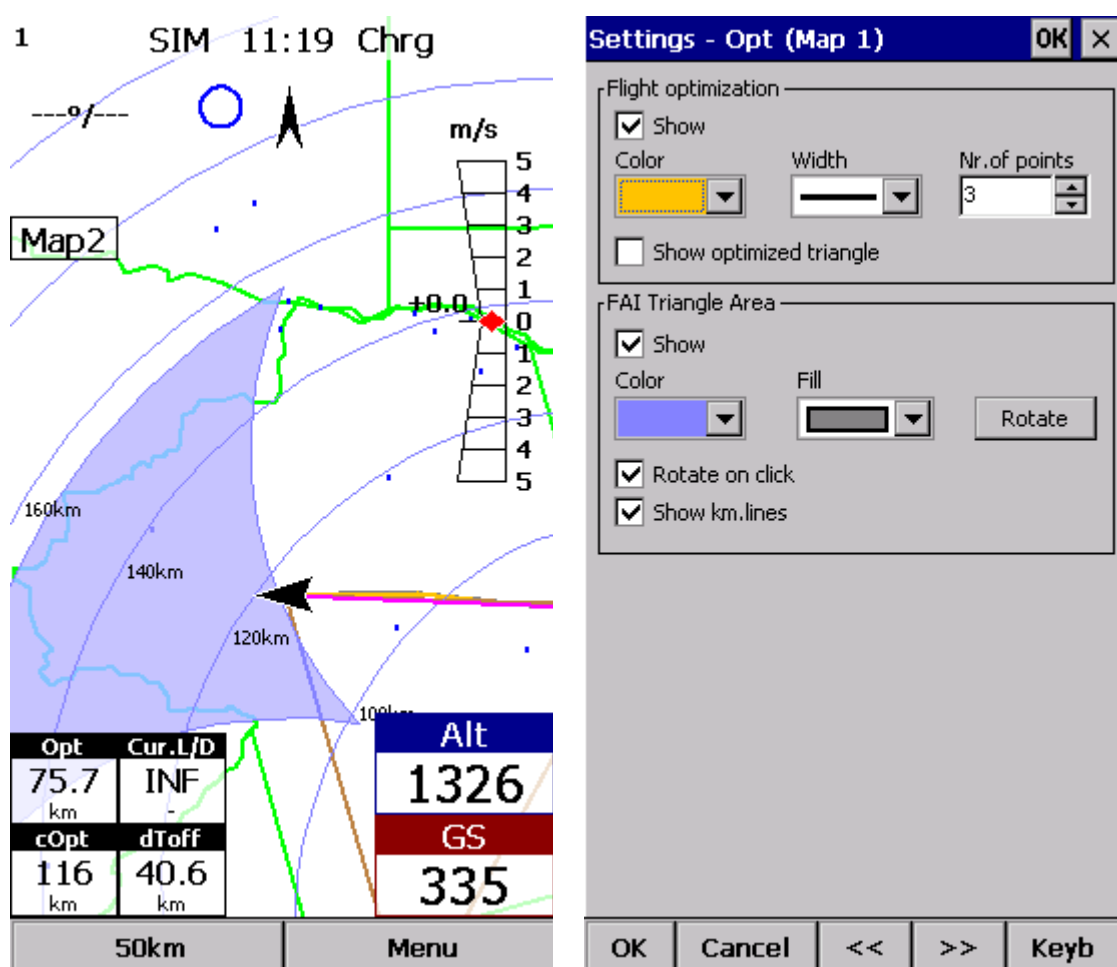
地点とターゲットへの直線の表示、非表示は Show で選択できます。その時のグライダー設定の状態で、ターゲット地点へ十分な高度が確保できていない場合、赤い四角で着陸予想地点が表示されます。

７．５　OLC と FAI エリア

＜Flight optimization パネル＞

最適経路の色（Color）と幅（Width）を設定できます。Nr. Of points（XC コンテストや XC グローブ、レオナルドでは 5 ポイント）ではターンポイント数を設定し、また Show では最適経路の表示、非表示が設定できます。

＜FAI triangle area＞

FAI トライアングルアシストの表示設定をします。色（Color）と範囲の表示方法（Fill）を選択できます。また、Show area のチェックボックスで FAI エリアの表示、非表示を選択できます。これらの設定は、<u>ディスプレイオプション</u>

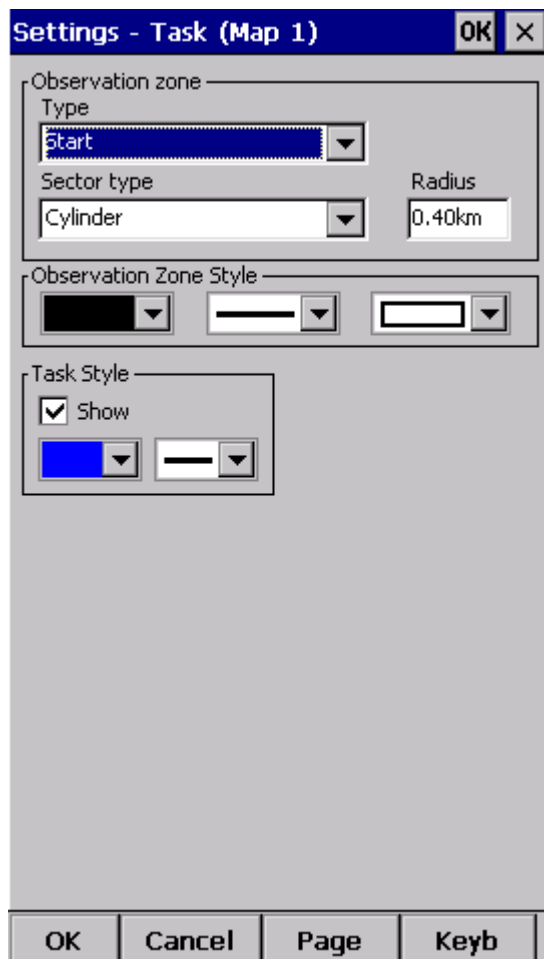
ダイアログ内でも同様に設定を行うことができます。
Rotate ボタンでは表示される FAI エリアの設定ができます。そのときフライトしているトライアングルが足りていない場合、それまでの最長レグの線に合わせて再設定がされ、左右どちらかにフライトしたときのオプションが表示されます。トライアングルが十分な大きさになったとき、辺と辺との間で回転するので、どちらの方向にフライトするかを決めて下さい。
Rotate on click を選択すると、マップ画面をタップすることで、FAI エリアに合わせた回転がされます。
Show km. lines を選択すると、トライアングルの辺が同じ距離になる地点を結ぶ曲線範囲が表示されます。
下の画像では、８０ー１２０km のトライアングルになるように設定された地点への曲線範囲を表示しています。紫色のエリア内にフライトすると、FAI トライアングルになります。

７．６　タスク

観測地帯に関する設定・表示方法は、SeeYou と同様です。マップ画面の観測地帯の範囲表示（Fill）と色（Color）を設定できます。

スタート地点、ウェイポイント、フィニッシュ地点に合わせて、それぞれのセクタータイプの設定を行うことが出来ます。

Observation zone style では、ウェイポイントセクターの色と幅を設定することができます。Observation zone fill は、セクター範囲内全体を設定色で表示するか、範囲の周囲を線で囲むかを選択できます。

Task style では、タスク地点を結ぶ線の色と幅を設定できます。

Show task は、マップ画面上のタスクの表示、非表示を設定できます。

７．７　Navboxes(ナビゲーションボックス)

ナビゲーションボックス機能は Oudie3 の核となっている機能です。どの navbox をどのくらいの大きさで、どの位置に表示するかなどはユーザーが自由

に設定することが出来ます。Action ボタンを押せば、navbox は機能します。マップ 1 は通常のナビ、マップ 2 はウェイポイント地点に向かうために詳細情報をみることができるように設定するなどといったように、ユーザーが異なる目的でマップを使い分けできるよう、Navbox はマップ 1 と 2 それぞれに別の設定ができます。
Navbox ダイアログでは、起動中のマップ画面でどの navbox を表示するかを設定できます。
希望の navbox を探しやすいよう、目的別で navbox をグループ分けしてあります。また Currently visible navbox グループでは、選択されている navbox がリスト表示されます。

＜Navigation navboxes：ナビゲーションに関する navbox＞
- Target name (target)：選択されている地点名
- Distance to target (Dis)：最適経路での選択されたシリンダーへの距離
- Steering course (To)：ターゲットに対する方位と地上方位との相違角度
- Bearing to target (Brg)：選択されている地点との進行方向との角度差
- Magnetic bearing to target (MagBrg)：磁方位に対する進行方向の角度差
- Track over ground (Trk)：進行方向の方位
- Magnetic track over ground (MagTrk)：進行方向の磁方位
- Radial (Radial)：ウェイポイントから現在地までの方角
- Speed over ground (GS)：対地速度。進行方向とトラックが 90°以上差があるときは値が負になります。
- Local time (Time)：時刻。UTC はユニットダイアログで変更できます。
- Arrival time (ETA)：選択したウェイポイントへの到着予定時刻
- Estimated time enroute (ETE)：選択したウェイポイントへの所要時間
- Nearest airport (Near Apt)：最寄りの空港の名前。この Navbox をタップすると、空港のプロパティダイアログが開きます。
- Inverted distance to target (DisInv)：ターゲットまでの距離を現在設定されている単位から変える。Km 単位を使用している場合は、ノーティカルマイルになります。
- Dist to TP (DistTP)：自分の位置から、ターンポイントの中心までの距離
- Distance to OZ (DistOZ)：自分の位置から、観測地域(シリンダー、ライン、

FAI セクター)までの最短距離
・ Steering course to last thermal (ToLT) : 直近のサーマルと進行方向との角度差
・ Dist to last thermal (DistLT) : 直近のサーマルまでの距離
・ GPS status (GPS) : GPS 信号の状態を次のように表示します。NODATA (データなし)、BAD(悪い)、OK(良い)、2D、3D/x
・ Battery info (Bat) : バッテリーの状態を次のように表示します。Full、Chrg(充電中)、Ext(外部接続)、もしくはバッテリーの残りパーセンテージ
・ Distance from takeoff (dToff) : テイクオフからの距離

＜Altitude navboxes : 高度に関する navbox＞
・ Altitude QNH (Alt) : 海抜高度
・ Flight level (FL) : 飛行高度。その場所の大気圧から求める高度
・ Height A GL (Agl) : グライダーポジション下の標高からの対地高度。
・ Altitude m QNH (Alt m) : m で海抜高度を表示
・ Altitude ft QNH (Alt ft) : ft で海抜高度を表示
・ Ground elevation (Gnd) : 現在地の地面高度
・ GPS altitude(GPSAlt) : GPS 高度
・ Arrival altitude (Arrival) : ウェイポイントに対する予定到着高度。距離、マクレディ、風向風速、ポーラー、誤差、バラストを考慮に入れて計算されます。ウェイポイントで設定した高度によって補正されています。グライダースロープより上にいる場合＋、下にいる場合－で表示されます。Box に 100m と表示されている場合、ウェイポイントが高度 300m だと高度 400m で到着します。
・ Required altitude (ReqAlt) : 現在地から目標までの推定損失高度。マクレディ、誤差、バラスト、風向風速を考慮して計算されます。
・ Task arrival altitude (tArr) : 現在の位置・L/D を基にしたゴール後の高度。
・ Task required altitude(tReqAlt) : タスクコンプリートに必要な高度。

＜Final glide navboxes : ファイナルグライドに関する navbox＞
・ Flown L/D (Cur. L/D) : 直近 2 分から導き出した、現在の L/D
・ Required L/D (Req. L/D) : ウェイポイントまで必要な L/D

・ Thermal L/D (Ther. L/D)：直近のセンタリング後の L/D
・ Arrival altitude (Arrival)：ウェイポイントの到着予想高度。距離、マクレディ、風向風速、ポーラー、誤差、バラストを考慮して計算。
・ Required altitude (ReqAlt)：現在地から目標に移動する場合の予想必要高度。現在のマクレディ、誤差、バラスト、風向風速を考慮して計算。
・ Required MC (Req.Mc)：正確にファイナルグライド出来るようにするためのマクレディリングの設定。
・ Task required L/D (t L/D)：タスクコンプリートに必要な L/D

＜Speed navboxes：速度に関する navbox＞
・ Speed over ground (GS)：対地速度。進行方向と軌跡の向きが 90° 以上違う場合、マイナスで表示されます。
・ True airspeed (TAS)：対地速度を風向風速で修正した値。
・ Speed to fly (STF)：マクレディ設定とシンクを考慮したマクレディセオリーに従って飛ぶ場合の速度。
・ Speed to gate/ Task speed (Tsk.Sp.)：現在地までのタスク速度。
・ Task required speed (tReq.Sp)：タスク時間内にゴールするための必要平均速度。
・ Speed Last hour (60'. Sp)：直近 60 分の平均速度。

＜Vario navboxes：バリオメーターに関する navbox＞
・ Last thermal vario (VarT)：センタリングを始めてからの平均上昇値。
・ Average vertical speed (VarA)：直近 20 秒の平均上昇値。
・ Vertical speed (Vario)：現在の上昇値。
・ Netto vertical speed (Netto)：選択したポーラー値によって修正された沈下率。

＜Wind navboxes：風に関する navbox＞
・ Current wind (Wind)：現在の風
・ Current wind component (cWind)：現在の進行方向の風成分を表示します。＋は追い風、－は向かい風です。2 つの数字が表示されています。1 つ目は対地速度と対気速度の差。2 つ目は現在の高度での風向風速に基づいた風成

分。2 つの数字がかなり異なっている場合、計算された風速が信頼できない値だとわかります。

＜Airspace navboxes：空域に関する navbox＞

- Nearest airspace – Vartically (Near AS.H)：グライダーとエアスペースとの相対高度。エアスペースの下にいる場合、－。エアスペースの上にいる、もしくは、空域が上と下にあり、その間にいる場合は＋になります。
- Nearest airspace – Horizontally (Near AS.V)：あなたが侵入していないもっとも近い指定空域までの水平距離。Navbox には指定空域の名前が表示されます。Navbox をタップすることで、一時的に解除することが出来ます。
- Nearest airspace – Altitude (Near AS.A)：垂直方向に最も近い指定地域との相対高度。指定空域の下限以下だと－、エアスペースの上にいる、もしくは、空域が上と下にあり、その間にいる場合は＋になります。

＜Task naboxes：タスクに関する navbox＞

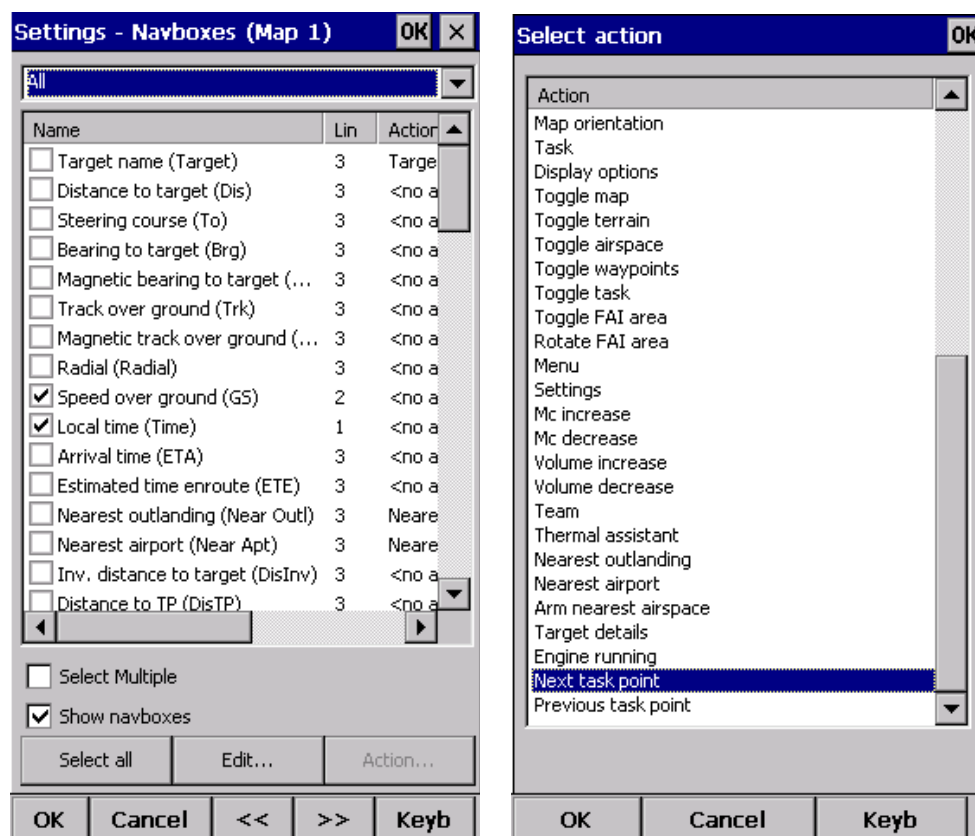
- Task remaining distance (tDis)：残りのタスク距離。
- Task arrival altitude (tArr)：ゴールに必要な高度。
- Task required L/D (t L/D)：ゴールに必要な L/D。
- Task arrival time (tETA)：ゴール到着予定時刻。
- Task estimated time (tETE)：ゴールに必要な予想時間。
- Task remaining time (tRemain)：タスクの残り時間。
- Task delta time (tDelta)：タスク時間―タスクの残り時間
- Speed to gate/ Task speed (tsk.Sp)：スタートゲートへ最適時刻に到着するための必要速度。
- Task speed (Tsk.Sp.)：現在までのタスク速度。
- Task gate time (Gate)：ゲートオープン時間。
- Task time to go (TTG)：スタートゲートに最適に到着するための時間。

＜Statistics navboxes：統計に関する navbox＞

- Thermal vario (VarT)：センタリング開始からの、平均上昇値。
- Optimized distance (Opt)：選択された複数のウェイポイントの距離。(初期設定は OLC)

・ Closed optimized distance (cOpt)：周回距離。テイクオフに戻った場合、最適化されます。
・ FAI triangle distance (FAI)：トライアングル距離。比率が正しければ、"FAI Tri"と表示されます。
・ Speed last hour (60'.Sp)：直近 60 分の平均速度。
・ Flight time(FL.Time)：フライト時間。
・ Triangle distance (Tri)：最適化されたトライアングル距離。

＜Action bottoms：アクションボタン＞
機器のハードウェアボタンでの操作をする navbox があります。ハードウェアボタンが限られているため、ソフトウェア、画面上に操作を設定する場合があります。下記は機器のボタンで操作可能な機能です。
・ MC increase：0.1m/秒(0.2kts)間隔でマッククレディ値を上げる
・ MC decrease：0.1m/秒(0.2kts)間隔でマッククレディ値を下げる
・ Volume increase：音量を上げる
・ Volume decrease：音量を下げる
・ Map 1 page：マップ１に切り替える
・ Map2 page：マップ２に切り替える
・ Statistics page：統計画面を表示する
・ Info page：インフォメーション画面を表示する
・ Engine running：エンジンが停止した場合に、最適化する。タップすることで、エンジンの状態を変更できます。
・ Zoom in ：拡大
・ Zoom out：縮小
・ Sideview：サイドビュー
※スクリーンロック中でもズームイン・アウト、ボリューム増減は操作可能です。
Select multiple のチェックボックスを選択した場合、navbox の複数選択を行うことが出来ます。上下に並んでいる複数の navbox を一度に選択したい場合は、ひとつの navbox をタップした状態で、選択したい navbox の方向へスタイラスペンをドラッグさせてください。Select all のチェックボックスでは、一度に全ての navbox を同時選択することができます。

Edit ボタンは navbox の編集を行うことが出来ます。表示されている Navbox 名上をスタイラスペンで選択、ドラッグして複数の navbox を選択して下さい。次に Edit ボタンを押し、number of the lines（表示する行数）を設定するか、または選択した navbox を画面上で transparent（透過）表示にするかを設定して下さい。
設定されている Navbox をタップすることにより、全ての navbox は Action（作動）させることが出来ます。
Auto Arrange チェックボックスを選択すると、画面下に設定した navbox を表示させることができ、新規の navbox を再設定することができます。
Show navbox を選択していない navbox は非表示になります。

７．７．１　編集機能

・number of lines：画面上に表示する行数を設定します。Navbox は 3 つのラインで構成されています。
Title line (line1)：表示名を黒の背景に白い文字で表示します。
Data line (line2)：白または透過表示の背景に黒文字で選択している navbox に

関するデータを表示します。
Units line (line3)：Data line で表示しているデータに関する単位やサブデータを表示します。)
表示行数を 1 つに選択した場合は、データ（line2）が表示され、2 つにした場合は表示名とデータ（line1 と line2）が、3 つ全てを選択すると、全てのラインが表示されます。

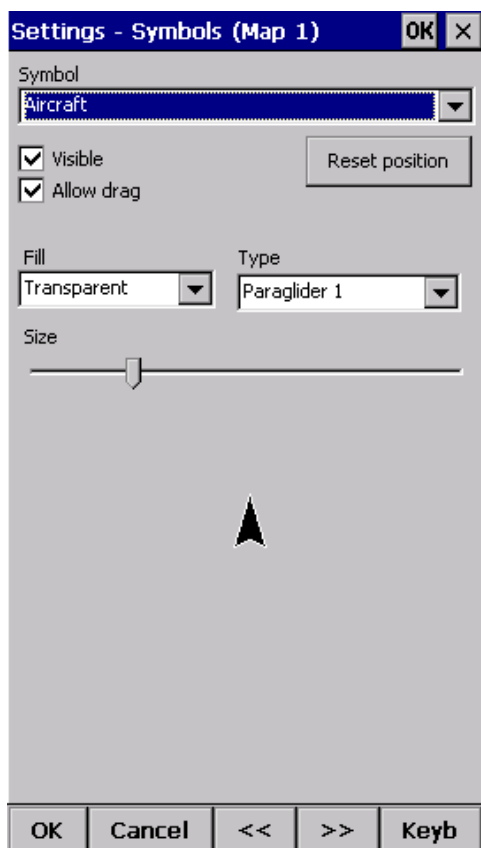
・ colors：navbox の表示色の一覧、編集を行うことが出来ます。
編集は背景、フレーム、表示名、データ、単位それぞれの色の設定を行うことが出来ます。
それぞれの navbox に異なる色の表示設定を行うことが出来ます。Menu→Next→Navboxes の操作後､設定したい navbox をタップ､ドラッグして複数選択し、Edit をタップ、表示色と行数の設定を変更して下さい。この方法と同様に navbox の表示サイズも変更することが出来ます。

・ Allow drag：選択すると、画面上のどこに navbox を表示するかを自由に設定することができます。動かす際は、navbox をタップし、そのまま動かしたい位置へ navbox を動かして下さい。北方位、グライダーの位置（現在地)、風情報、グライドスロープ指針も同様に動かすことが出来ます。
・ Transparent：データと単位を表示するラインの背景が透過されます。
・ Fill：背景の透過率を設定することが出来ます。0%に設定した場合、透過率は 0%となり、後部のマップなどの背景はみることができない状態になります。

７．８　シンボル

下記のシンボルの設定を行うことが出来ます。

・ 空域
・ 風
・ オリエンテーション
・ ファイナルグライド
・ スケール
・ タスクボタン
・ スピードトゥフライ
・ バリオメーター

・ visible : シンボルの表示、非表示を選択します。
・ transparent : 選択した場合、シンボル背景が透過され、枠がけされた状態になります。
・ allow drag : ドラッグすることで、画面上を自由に動かすことを可能にするかどうかを選択します。
・ reset position : 選択しているシンボルを初期設定時にあった画面の位置へ戻します。
・ size : シンボルの表示サイズを設定することができます。
・ type : いくつかのシンボルはここからオプションを選択設定することができます。

※ 「バリオメーターを使用する」もご覧下さい。

７．９　警告

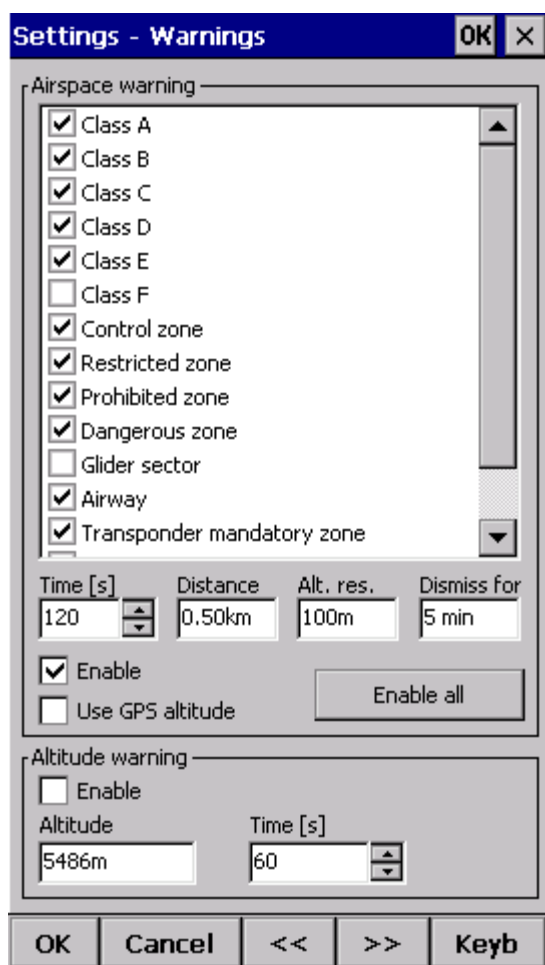
① 空域警告

空域警告は、2 タイプの異なる状況で発動されます。

ひとつは禁止空域に入ってしまうと予想される場合です。セクターはマップ上では赤い枠で囲まれています。現在地から数秒後、どこに向かってフライトしているかを計算しています。時間の単位は時間設定で行うことができます。

2 つ目は、あらかじめ設定している禁止空域からの距離より近くを飛行した場合、または空域枠ではなくても、alt.res. (残留高度)よりも低い位置で飛行している場合に発動し、警告音が継続して鳴り、画面全体に警告が表示されます。

② 高度警告

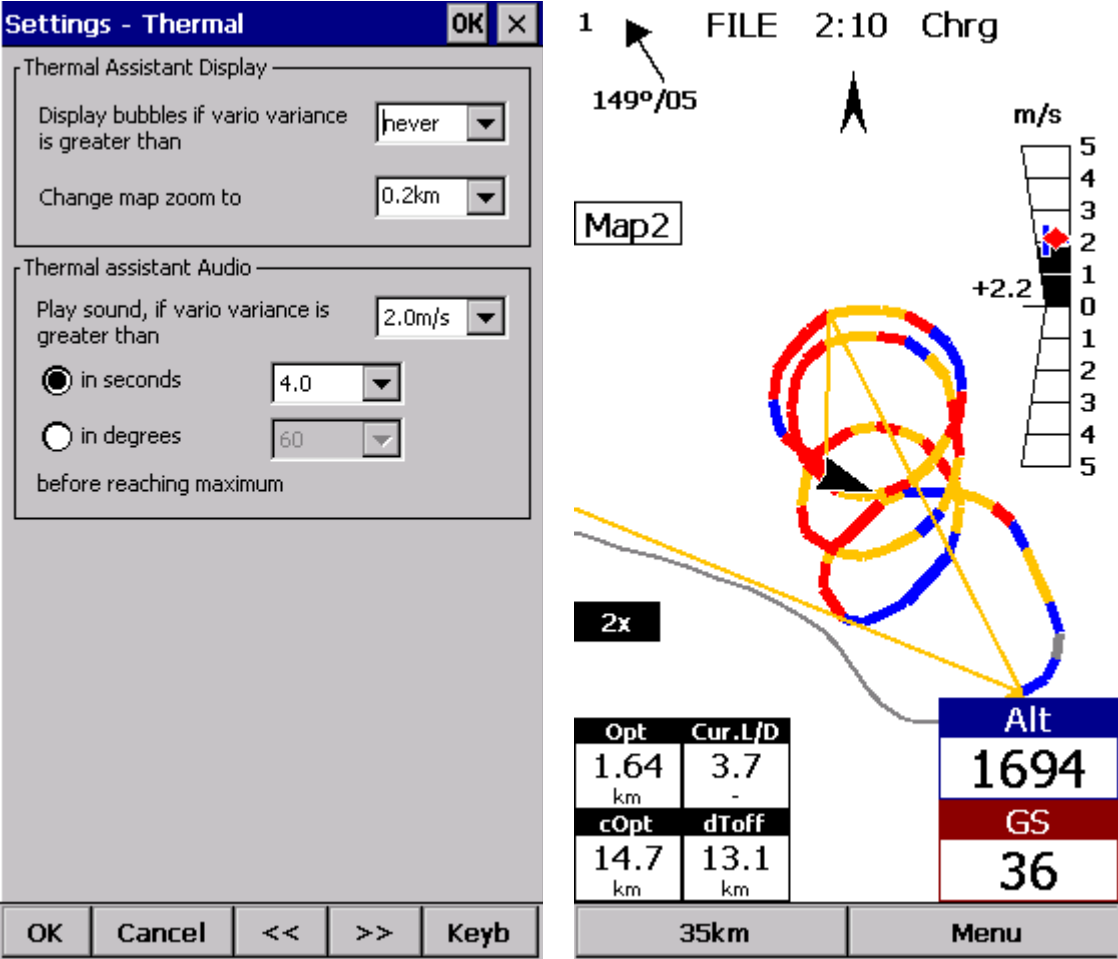
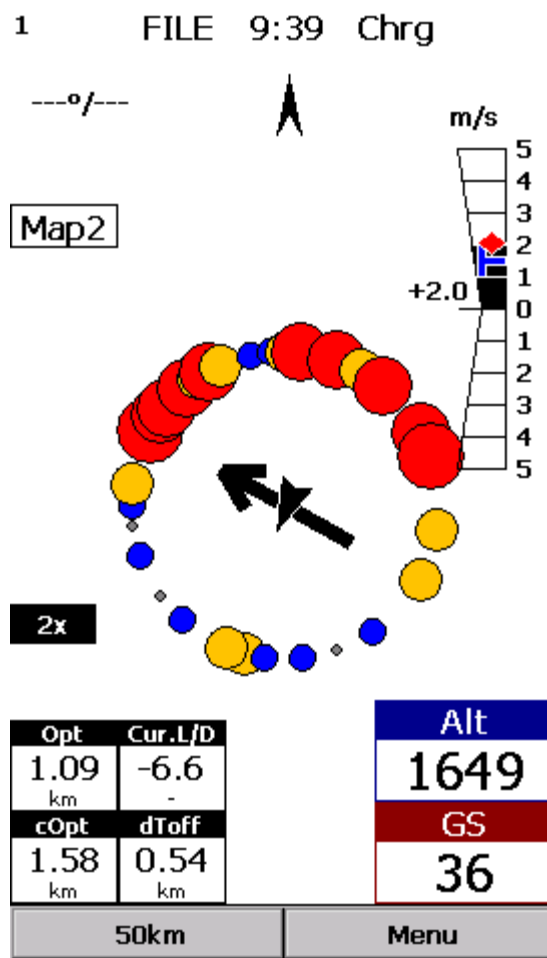
大会で制限高度がある場合、またはアメリカでは 18000ft の制限がある場合などに利用できます。空域高度が近くなった際、空域警告と同じように、ビープ音と赤い警告バナーが表示されます。

※ 「空域警告について」もご覧下さい。

７．１０　サーマルアシスト

旋回している際は、サーマルアシストが作動し、サーマルを分析しています。旋回している空域内により良さそうな上昇があるとき、お知らせ機能を設定することが出来ます。

バリオメーターの分散値は、現在のバリオ値と平均のバリオ値の差の 2 乗で表しています。差が大きい程、平均上昇率が上がるより強い上昇の方向へ旋回できる可能性があります。

Menu→Settings→Thermal で、バリオメーターの上昇値がどのくらいの値のときに画面上でのサーマルアシスト、また音でのサーマルアシストを作動させるかを設定することが出来ます。音でのアシストでは、お知らせ音が限界値に達

する前どの程度鳴らすかを設定できます。
最も良い上昇部分を示すシンボルを、バブルかリングどちらか設定することが出来ます。初期設定ではリングが選択されています。

※ <u>「初めて使うとき-サーマルアシスト」「メニュー」</u>（サーマルアシストのショートカットを確認できます。）もご覧下さい。

７．１１　ポーラーカーブ

ファイナルグライドの計算に有効なグライダーのポーラーカーブのデータをoudie3 に入力することが出来ます。

List ボタンで既に作成されているポーラーカーブデータを見ることが出来ます。

- Glider：ポーラーカーブの表示名を入力します。
- Stall speed：推定失速速度を入力します。
- A, B, C：グライダーの実際の飛行状態の計算に使用する二次方程式に必要なデータを入力します。ABC それぞれの計算には、calculate ダイアログを開き、ポーラーカーブを基にしたデータを入力して下さい。
- User polars only：選択すると、ユーザーによって入力されたポーラーカー

ブデータのみ表示されます。

- Info 画面では、設定内容の基本情報をみることができます。
-

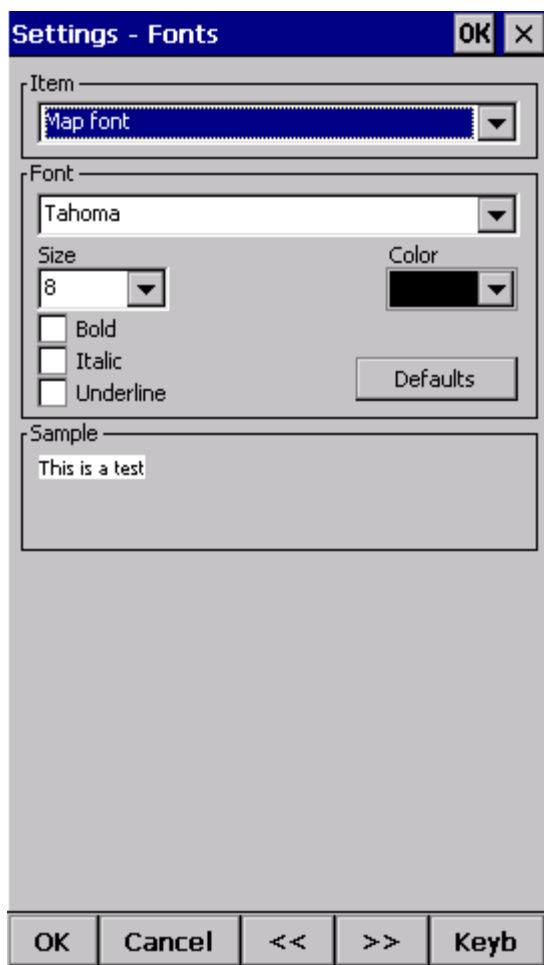
７．１２　単位

使用したい単位を設定できます。設定できる単位は下記の通りです。

- 距離：km, nm, ml
- 高度：m, ft
- 速度：m/s, km/h, kts, mph
- 垂直速度：m/s, kts, fpm
- XC 速度（クロスカントリー速度または平均速度）：m/s, km/h, kts, mph
- 圧力：mbar, hPa, mmHG, inHg
- 重量（翼面荷重）：kg/m2, lb/ft2
- 緯度：DDMMSS, DD.MMmmm, DD.dd

・ メトリック設定：km, m, km/h, m/s, km/h, mbar, kg/m2, DDMMSS に設定を統一する。
・ インペリアル設定：ml, ft, mph, kts, mph, inHg, lb/ft2, DDMMSS に設定を統一する。
・ ブリティッシュ設定：km, kts, km/h, lb/ft2, inHg, ℉, ft, lbs, DDMMSS に設定を統一する。
・

7．１３　フォント

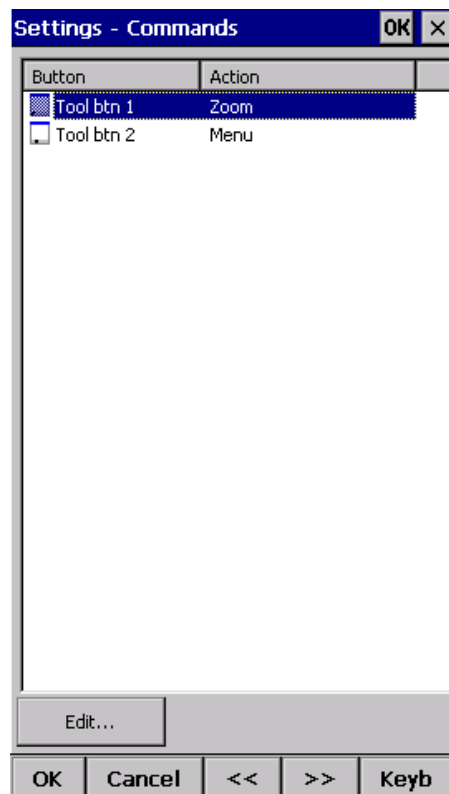
フォントを自由に設定することが出来ます。
フォントの設定を変更したい部分を Item で選択し、Font（フォント）、Size（サイズ）、Bold（太文字）、Underline（下線）、Italic（イタリック文字、斜めにする）をそれぞれ設定して下さい。ダイアログ下部にあるサンプル文字を参考にして行って下さい。

７．１４　インプット

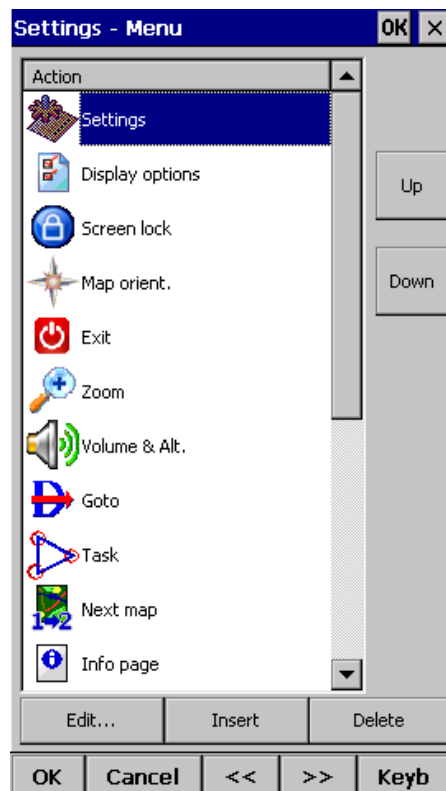
フライトを表示する３つの入力があります。

- GPS/ Vario （GPS/ バリオ）：フライト中に使用するもので、電源を入れるだけで自動的に入力操作が行われます。このモードの状態のとき、マップ画面の左上に、3D/X、2D/X、または BAD と表示されます。
- Simulator（シミュレーター）：このモードでは、どのような経路で行けば速いのかを、グライダーから線を表示することによってナビをします。緯度を設定変更することができます。
- File：IGC ファイルによって過去のフライトをアニメーションするモードで、アプリケーションを試す際に最適です。このモードで、実際のフライトを想像、また oudie3 を携帯しながらのフライトを想像することが出来ます。「…」ボタンでアニメーションを開始したいフライトを選択し、Rate spin でどの程度の速さでアニメーションを再生したいかを選択して下さい。

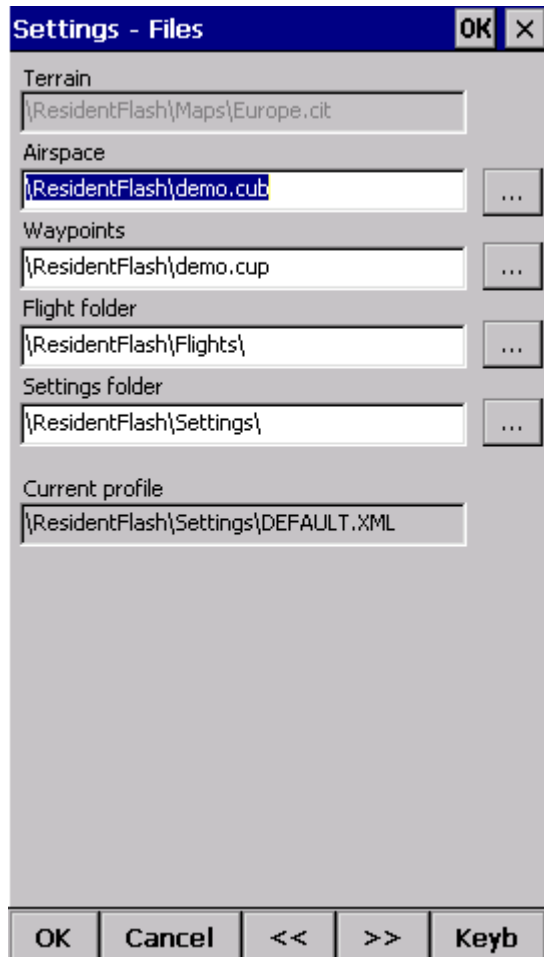
NMEA ログを保存すると、他の Flarm データや警告など、フライト時に送信された全てのメッセージも画面上に再生されるため、有効です。保存された NMEA ログを再生するには、Oudie メモリーに TMP フォルダーを作成し、NMEA ログを「mneain.log」として保存して下さい。Menu→Settings→input の手順で再生できます。

７．１５　コマンド

コマンドバーの２つのソフトウェアボタンをカスタマイズすることができます。

７．１６　メニュー

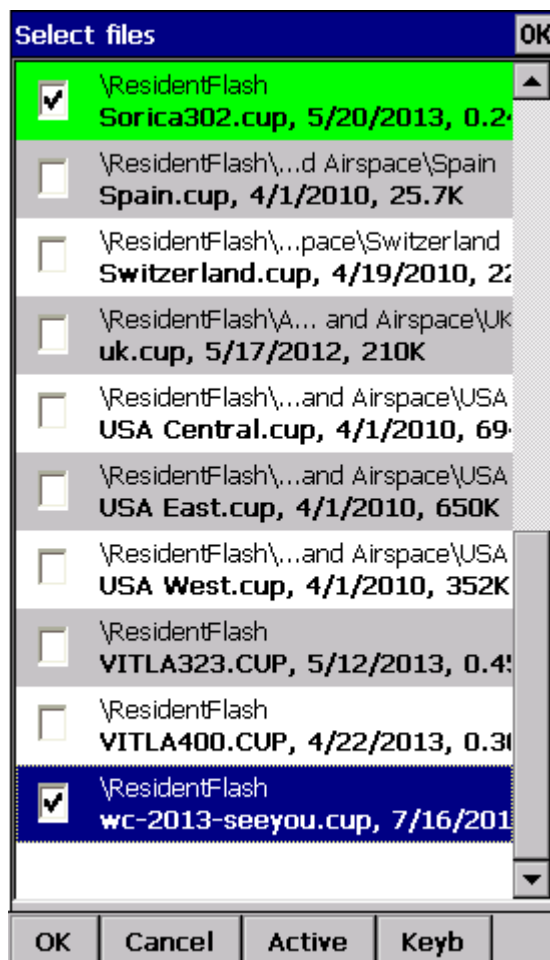
メニュー画面の表示内容や順番などを変更できます。メインメニューの変更に、Up（上へ）Down（下へ）Edit（編集）Insert（挿入）Delete（削除）ボタンを使用して下さい。

７．１７　ファイル

oudie3 の初期のファイルについて設定することが出来ます。地点と空域ファイルの変更・移動のやり方は「oudie3 にファイルをコピーする」をご覧下さい。

＜Selecting multiple waypoint and airspace files：複数の地点と空域ファイルを選択する＞

oudie3 は複数の地点と空域ファイルを選択することができます。世界対応のマップは内蔵されているため、逐一変更する必要はありません。

複数の地点ファイルを使用する際、一つのファイルを Active（作動）状態にしてください。タスクデータは選択されたファイルのみに保存されます。SeeYou ウェイポイントファイルフォーマット .cup・.cupx、.wpt（コンペ GPS と Ozi エクスプローラー）、.dat、.grw、.wht、.cdb、.ndb、.wpz、.att、da4 など複

数の地点ファイルのタイプを用意しています。

＜Automatic search for files：ファイルを自動探索する＞

上記の画像のような Select file ダイアログを開いた際、適したファイルを全てのファイルから探索することが出来ます。例えば、地形ファイルを見たい場合、ユーザーの PDA ファイルから全ての CIT ファイルがリストアップされます。

７．１８　ログ

Oudie3 は、フライト後にフライトをログし、IGC ファイルを作成します。SeeYou か類似のソフトウェアでフライト後に分析することができます。

フライトの基本情報（Pilot（パイロット名）、Copilot（コーパイロット名）、Competition ID（大会名）、Glider（グライダー）、Class（クラス））の入力を行って下さい。Interval はログを記録する際のインターバルを設定します。Enable logging を選択すると、ログのオンオフを切り替えることが出来ます。

IGC ファイルの保存先は Settings→File ダイアログで設定されています。
Start/Finish logging ボタンは、テイクオフやランディングのタイミングを自動的に決めずに、手動でそれらのタイミングを操作できます。
Launch Type で、ソアリングの始まりをどのように計算するかを選択します。Foot Launch を選択すると、テイクオフと同様になります。他の設定ではなりません。

７．１９　ユーザーインターフェイス（UI）

・Screen orientation（画面の向き）：全ての機器に対応していないため、画面の向きを変更しようとした際に動かない場合があります。下記のように、初期の画面の向きに合わせて変更が出来ます。
0＝初期設定の状態
90＝初期設定から 90°度時計回りに回転させます。

180＝ポートレートの向きが上下反対になります。
270＝初期設定から 90° 半時計周りに回転させます。
再起動後、変更が有効になります。

- Dialog timeout（ダイアログタイムアウト）: ダイアログを開いた状態で操作がなかった場合に、自動的にマップ画面にもどる時間を設定できます。機能するダイアログは、ズーム、フライト情報、風、マップの向きの機能に限定されています。
- Drag limit（ドラッグ制限）: スタイラスペンまたは指で画面操作をしても反応しないようにピクセルの範囲を設定することが出来ます。グライダーが揺れている際などに操作が難しいとき、この設定は有効です。
- Snap pix（スナップピックス）: Task→Map mode で自動選択されているデータベースからの位置についてのマージンを設定できます。
- Show command bar（コマンドバーを表示する）: マップ画面の下部にツールボタンと一緒にコマンドバーを表示します。
- Show task bar（タスクバーを表示する）: マップ画面の上部にタスクバーを表示します。
- Tap & Hold activation（タップ&ホールドを機能させる）: タップしたあとにそのままホールドすることで、マップ画面上のシンボル（風、マップ方位、フライト情報など）を起動させることができます。
- Language : 使用する言語を選択できます。Manage ダイアログからインストールした言語ファイルを選択することができますが、英語以外の言語を選択する際、SeeYou のマルチリンガルバージョンをインストールする必要があります。
- Regional Settings（地域設定）: 日時設定を行うことが出来ます。機器の使用言語は英語設定の場合でも、ここで日時を設定することで、ローカルタイムに合わせることが出来ます。

７．２０　その他　(Misc)

他のアプリケーションでは記載されていない、その他の設定をすることができます。

- Restore all settings to default：設定を全て初期設定に戻し、アプリケーションを再起動します。
- Distance calculation：距離の計算をスフェロイド（球状）またはエリプソイド（楕円）から選択することができます。
- Add profile...：SeeYou モバイルに新規プロフィールの作成をすることができます。複数のプロフィールを機器に同時に保存することで、異なるグライダーを使用する場合、また同じグライダーでも複数人がこの機器を使用する場合など、異なる設定が必要な際に作成してください。複数プロフィールを作成した場合、機器の起動の際に使用するプロフィールを選択します。
- Reset “do not show again”：Oudie3 内のいくつかのダイアログにこの表示

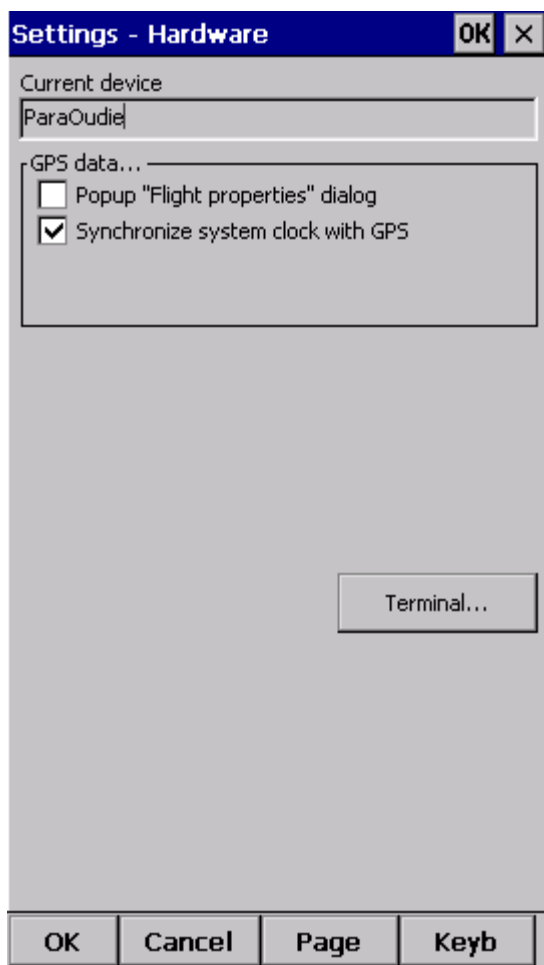
がされる場合があります。一度非表示設定にしたものを再表示させることができます。

・ Copy map settings...：あるマップの設定を、異なるマップの設定へコピーすることが出来ます。誤って違うマップ設定にならないよう、注意深くダイアログ内のメッセージを読んだ上で、行って下さい。

・

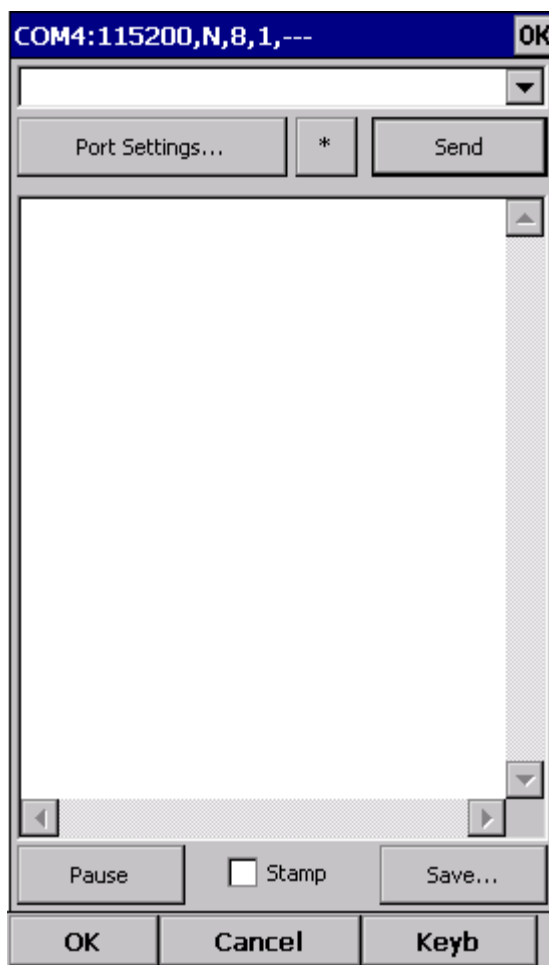
７．２１　ハードウェア

・GPS data dialog：ポップアップで表示される「Flight properties dialog?（フライト情報ダイアログを開きますか？）」を許可した際、フライト前にこのダイアログが開きます。

・ Terminal...：NMEA 入力を監視できるダイアログが開きます。

７．２１．１　ターミナル

COM ポートを通して読み込んでいるデータの確認ができます。GPS に関する何らかの問題が生じた場合などに利用できます。

画面上部にある編集ボックスは、コマンド入力、及び Send...ボタンで送信することができます。

- Port settings...：COM オプションダイアログを開きます。
- Pause：NMEA データの読み込みを一時停止します。
- Stamp：それぞれの NMEA データに更新日時を記録することにより、問題の発生源を発見しやすくできます。
- Save...：ログを保存することにより、問題が生じた際に support@naviter.com（ナビター社のサポートセンター）にそれを送信することが出来ます。

７．２２　バリオメーター

- Filter：上昇または下降に対して、Oudie3 がどの程度素早く反応するかを設定します。
- Sound frequencies：バリオメーターの音の設定をすることができます。設定変更をする前に、一度初期設定を試して下さい。
- Silence threshold：シンク音が鳴りだすしきい値を定めることが出来ます。Enable のチェックボックスを選択すると、この機能を有効にします。

※ 「バリオメーターを使用する」「ボリュームと高度」もご覧下さい。

パート８　Oudie ファームウェア

Oudie3 を起動した際、初期の状態では自動的にソフトウェアが開きます。Menu →Next→Exit でソフトウェアは閉じ、Oudie3 の各設定を行うことが出来ます。

８．１　メイン画面

Oudie3 または Connect Me ソフトウェアを起動することができます。Oudie3 はナビゲーションのソフトウェアであるのに対し、Connect Me はフライト経路やその他のフライト記録をダウンロードすることができます。（接続ケーブルは付属されていません。）Connect Me の取り扱いに関する説明ファイルは別途ございます。

＞＞ボタンをタップすると、設定画面へ進みます。

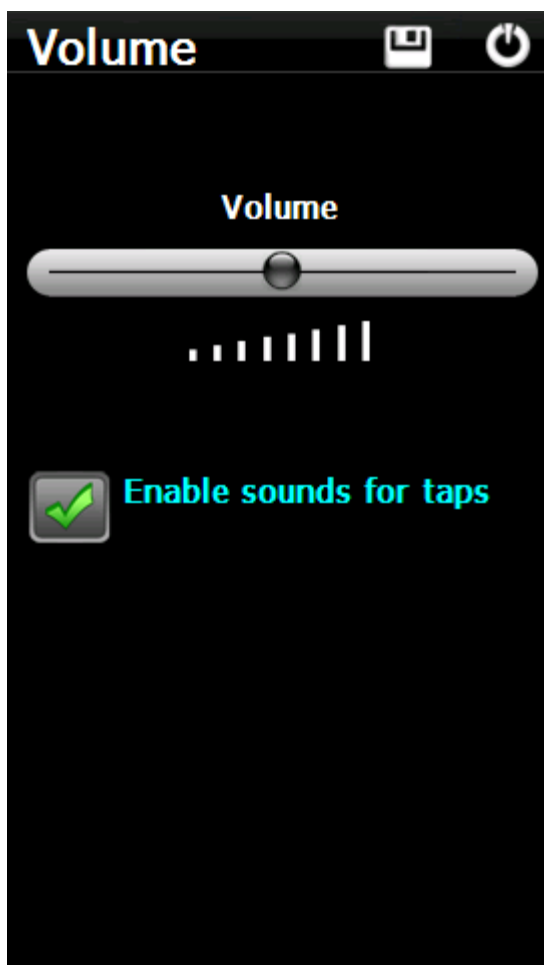
８．２　設定画面

下記サブページの設定が行えるリンクがあります。

・ Volume：音量
・ Backlight：画面照明
・ Language：言語
・ Autorun：オートラン
・ Screen calibration：画面校正
・ USB port：USB ポート

＞＞ボタンをタップすると、メイン画面に移ります。

８．２．１　音量

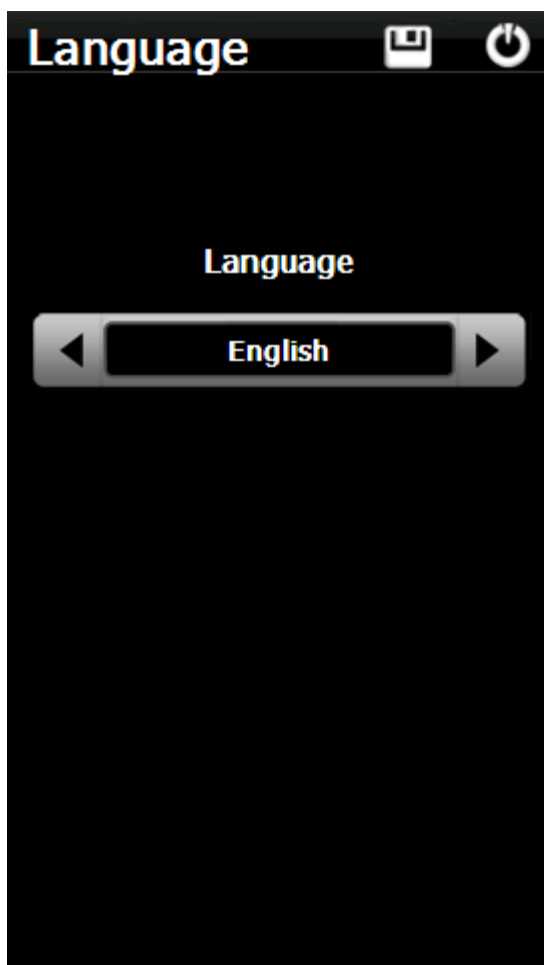
スライダーを移動させることで、音量調節をします。
チェックボックスは、タップ音の有無を選択できます。

８．２．２　画面照明

スライダーを移動させることで、画面の照明を調節します。設定を明るくすると、画面が見やすくなります。

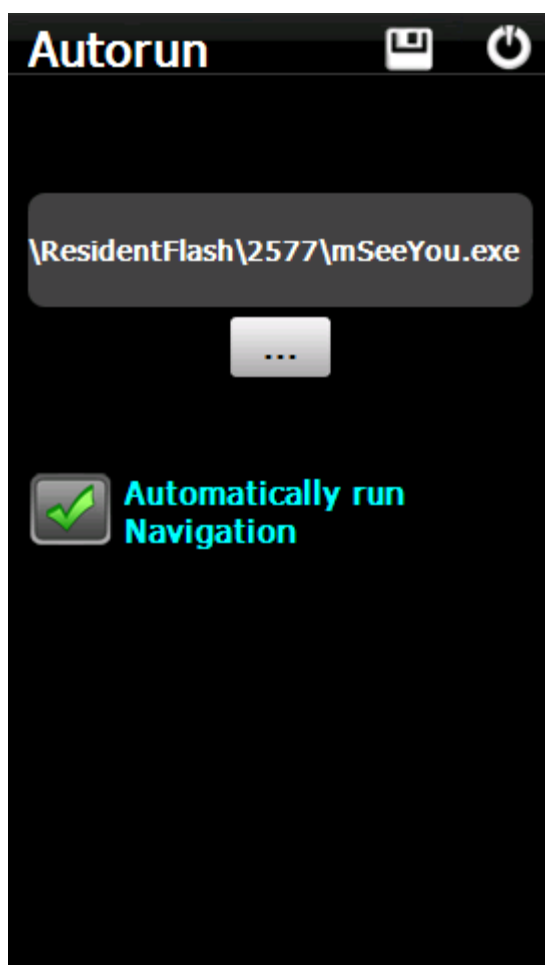
AutoOFF は、ユーザー設定のタイミングで照明のオンオフを選択できます。初期設定の状態では、常に自動照明調節がオンに鳴っています。

Auto backlight チェックボックスを選択すると、機器後部のセンサーの反応により、自動的に画面の照明調節が行われます。

８．２．３　言語

右と左を示すアイコンをタップすることにより、使用する言語を選択します。

８．２．４　オートラン

チェックボックスでは、Oudie3の起動時、または再起動時に自動的にソフトウェアを作動させるかどうかを選択できます。

「…」ボタンでは、メイン画面上にあるOudie3アイコンをタップした際、どのソフトウェアを起動させるかを選択できます。（または、自動起動を設定できます。）

８．２．５　校正

タッチ画面がうまく作動しない際、画面のタッチ調整を行います。

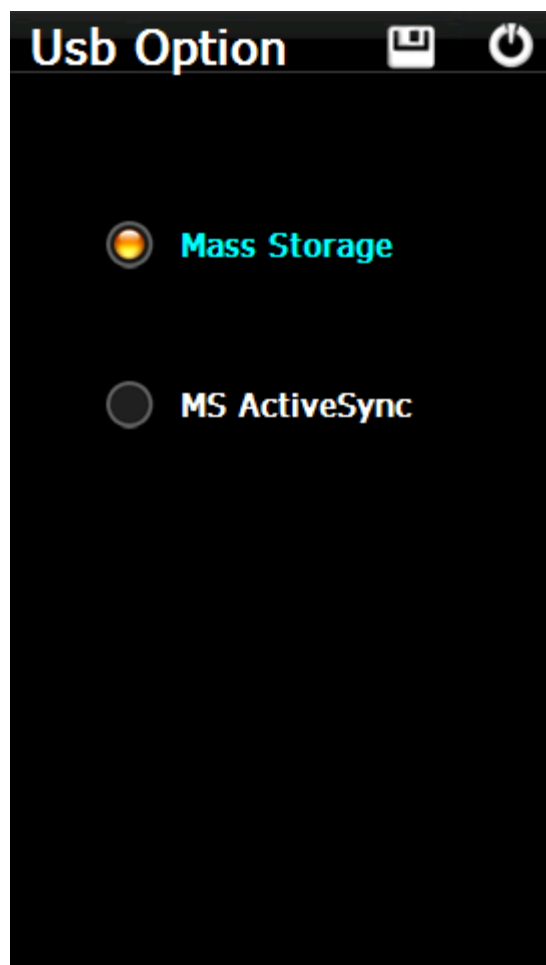
Volume
Backlight
Do you really want to
re-calibrate the screen?
Language
Autorun
OK
Cancel
Calibration
USB

８．２．６　USB

USB ケーブルでパソコンと接続した際の Oudie3 の動作を選択出来ます。

・ Mass Storage : パソコンと接続した際にロジカルドライブとなります。ケーブルで接続後、Connect to PC (パソコンに接続する)または、Charge Battery (充電する)どちらかを選択します。パソコンに接続するを選択した場合、Connect Me を含めた Oudie3 機器本体での操作はできなくなります。

・ Active Sync : Oudie3 は外部デバイスをみなされ、Mass Storage モードに比べてデータ移動は遅くなりますが、Oudie3 機器本体もパソコンも同時に接続・操作を行うことが出来ます。

Usb Option
Mass Storage
MS ActiveSync

パート９　携帯画面の操作方法

＜指またはグローブ着用の上での Oudie3 の操作＞
室内などでは付属のスタイラスペンを使用して、機器の操作ができますが、フライト中は指またはグローブ着用した上で機器を操作しなければなりません。Oudie3 はスタイラスペンではなく、指での操作を中心に考え、つくられています。
＜タップ＞
タップ操作は、デスクトップウィンドウでの左クリックと似た機能です。画面のどこかを指または爪で押すことにより、タップ機能を使用できます。メニュー画面から操作して開始するナビを、マップ上をタップし、Goto を選択して空域画面へ移動することにより、同様にナビを開始させることができます。
＜タップ＆ホールド＞
この操作は、デスクトップウィンドウでの右クリックと似た機能です。タップ＆ホールド操作は Oudie3 のポップアップメニューではあまり必要がありませんが、マップ上での操作の際に使用する時があります。ナビボックスを移動させるとき、滑空角表示をタップ＆ホールドして、飛行パラメーターを読み出すとき、または風向を示す矢印や北方位なども同様に操作することが出来ます。

パート１０　技術仕様書

デバイス	
プロセッサー	ARM11.500MHz
RAM	128MB
内蔵フラッシュメモリ	8GB
スピーカー	有
ボタン	On/Off,Reset
バッテリー	9600mAh
電池残量表示	有
電池使用時間目安	最大 12 時間
充電時間	最大 6 時間
サイズ	135×86×25mm
重量	350g
バリオ	高感度
気圧高度計	高精度
フライトレコーダー	有
フライトログ保蔵	実質限度なし
動作温度	-15°～50°

タッチスクリーン	
ディスプレイサイズ	5" TFT LCD
解像度	480 x 272
縦横比	16:9
画面方向縦	有
画面方向横	有
タッチスクリーン	抵抗膜式
スクリーンロック	有
グローブ着用時の使用	可

接続

内蔵 GPS	有
USB	USB2.0
マスストレージ	有
アクティブ同期	有
外部フラッシュ	MicroSDHC
ヘッドフォン	3.5mm ジャック
シリアルポート	有
Bluetooth ポート	有

ソフトウェア

言語	17
マップ移動	Yes
プリインストールマップ	ワールドワイド
指定空域	ワールドワイド
Airspace updates	自動、無料
Software updates	無料
3D 空域警告	有
最大高度警告	有
ファイナルグライドカリキュレーター	有
サーマルアシストモード	有
OLC　最適化	有
FAI トライアングル最適化	有
プロファイル	無制限
スピードトゥフライインジゲーター	有
Navbox	66
フライト統計	有
レーストゥゴール	有
指定エリア	有
タスクルート最適化	有、オート
風向風速計算	有
単位	メートル法/ヤードポンド法
ファイルリプレイ	有

商品付属品

Oudie3

保護ケース

スタートマニュアル

SeeYou トライアル CD

世界対応充電器(110-220V)

車載用充電器(12v)

USB ケーブル

ベルクロテープ

PDF マニュアル

ステッカー2 枚

パート１１　トラブルシューティング

ケース①：電源ボタンを押してもデバイスが動かない、または起動時にシャットダウンしてしまう。
→ソリューション：デバイス内部のバッテリーを充電して下さい。

ケース②：ナビゲーションソフトウェアが現在地を把握しない。
→ソリューション：上空に遮るものがないか確認・移動し、40 分後、再起動させてください。それでもサテライトがうまく反応しない場合は、Menu→Settings→Input options を確認してください。

ケース③：GPS Fix navbox 内で、NODATA と表示される。
→ソリューション：Menu→Settings→Input options を確認して下さい。

その他の問題に関しては、support@naviter.com へご連絡ください。
※ 「インプット」もご覧下さい。

パート１２　責任・義務についての注意点

Oudie3 は個人のパーソナルナビゲーションのアシストをするもので、法制限のある機器やサービスの代用にはなりません。
機器をご使用になる前に、この機器を使用になる際は、機器の十分な操作ができること、また安全に使用することは、お客さま本人の義務となります。機器の誤った操作は対物事故や対人事故を起こす可能性があります。
Naviter 社は機器の誤った操作による、いかなる対物・対人事故、けが、死亡事故などに一切の責任を持ちません。常識、ユーザーマニュアル、インサートなどのドキュメントに関する範囲外のものは、機器の誤った操作と判断されます。

パート１３　保証

購入日から一年間、製品の保証をいたします。保証期間内で欠陥があった場合は、欠陥理由や状態の説明文書を同封し、当社へ発送してください。修理、または製品の交換を、送料のみお客さま負担でさせていただきます。

この保証権利は譲渡や交換ができません。また、欠陥に関しては、誤った操作や水没、製品の分解など、誤った使用方法での故障ではないと当社で判断した場合のみ、当社で修理代、交換代を負担させていただきます。欠陥製品を発送する際は、購入時の納品書を同封して下さい。